

令和7年度

工 事 設 計 書

事 業 名：社会資本整備総合交付金事業

工 事 名：町道中山インター線改良工事（7工区）

工 事 場 所：西伯郡大山町赤坂

鳥取県 西伯郡
大山町全図



契 約 図 書

1

公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要がある ので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通 省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____
------	---

安全対策	① (交通安全施設等) 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日 工事全体合計 人・日 交通誘導員B 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日 工事全体合計 人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	① (濁水処理) 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知)(https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosouseitudan.pdf)に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土(処理)】 ① (他工事等流用) 建設発生土は 市・町・村 地内の 工事現場に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。 ② (建設技術センター) 建設発生土は 市・町・村 地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当り 円をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上) ② (民間残土受入地) 建設発生土は 西伯郡大山 市・町・村 加茂 地内の (株)赤松産業 に運搬(片道運搬距離 11.4 km)するものとする。なお、処理費として1m³当り 1,730 円を (株)赤松産業 に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土砂、コーン指数300kN/m²以上) ④ (土質改良プラント) 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当り 円を に支払うこと。土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上) 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】 ① (分別解体等) コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当り 円 アスファルト塊 1m³当り 円 建設発生木材 1m³当り 円 ② (他工事等流用) [Co雑割材・]は、 市・町・村 地内 工事で使用するものとする。

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、1 t 当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤ (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・
受入れ費用) コンクリート塊 _____市・町・村_____稲吉 地内の (株) 大協組
(運搬距離 _____km)、費用 1 t 当り _____800 円

アスファルト塊 _____市・町・村_____稲吉 地内の (株) 大協組
(運搬距離 _____km)、費用 1 t 当り _____1,100 円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の _____
(運搬距離 _____km)、費用 1 t 当り _____円

その他 (_____) _____市・町・村_____地内の _____
(運搬距離 _____km)、費用 1 t 当り _____円

(受入れ時間帯) 8 時～17 時 (平日)

(受入れ条件) ア 路盤材、土砂、金属片等の異物が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は300mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____cm 以下、長さ _____m 以下であること。

エ 2 次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥ (最終処理等)

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離 _____km)を想定し、その費用として1 t 当り _____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧ (伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているので、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、manifests で運搬量(体積(空m3))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材 搬出量	manifests 又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (manifests)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき manifests を作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用)―― _____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。―― ② (再生資材の使用) ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。―― イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。―― ウ 再生クラッシュラン〔規格：Rc-30、40〕は、使用箇所：_____下層路盤、基礎砕石等_____に使用する。―― エ 再生コンクリート砂〔規格：RS_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度AS13〕は、使用箇所：_____表層_____に使用する。―― カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	① (農地の一時転用について)―― 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。―― 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】―― 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。―― ② (農地の賃貸借)―― ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村_____番地を賃貸借すること。―― イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。―― ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。―― エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。―― オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。――
その他	① (自社施工)―― 本工事においては、(※)_____工(_____工を除く)のうち少なくとも_____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。―― ※該当する細別(レベル4)を記載する。―― ② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、_____町道中山インター線改良工事(7工区)_____とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。――

③（景観評価）

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。

イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④（工事成績評定）

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。

ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事

イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）

ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事

エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）

オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤（監督体制）

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。

重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。

なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥（三者協議）

本工事は、_____（対象工事の区分を記載）工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦（技能士常駐）

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧（電子納品）

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。

電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨（情報共有システム）

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。

ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他の

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。
 通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕
 イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
 本工事の 王で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格 t 吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用し、本工事の 王で使用を想定している高所作業車（規格 ）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用している。

⑫（現場環境改善）

【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。
 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。
 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
 また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等）
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
 また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑭ (現場管理費補正)―

―【治山工事、林道工事以外】(該当しない場合は削除)―

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

―【治山工事、林道工事】(該当しない場合は削除)―

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑮ (日本芝生産地への配慮)―

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア―〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。

イ―〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ―〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当り―円を見込んでいる。

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])―

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)―

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱ (標示板の設置)―

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])―【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】―

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳ (遠隔臨場)―

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

㉑ (施工管理システム)―

本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

② ~~（快適トイレの試行）~~

1. ~~内容~~

~~受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。~~

~~（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。~~

~~【快適トイレに求める機能】~~

- ~~（１）洋式便器~~
- ~~（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）~~
- ~~（３）臭い逆流防止機能~~
- ~~（４）容易に開かない施錠機能~~
- ~~（５）照明設備~~
- ~~（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg以上とする）~~

~~【付属品として備えるもの】~~

- ~~（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示~~
- ~~（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫~~
- ~~（９）セーターボックス（女性用トイレに必ず設置）~~
- ~~（１０）鏡と手洗器~~
- ~~（１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品~~

~~【推奨する仕様、付属品】~~

- ~~（１２）室内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）~~
- ~~（１３）擬音装置（機能を含む）~~
- ~~（１４）着替え台~~
- ~~（１５）臭気対策機能の多重化~~
- ~~（１６）室内温度の調整が可能な設備~~
- ~~（１７）小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）~~

2. ~~快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基/工事（施工箇所）※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

2. ~~快適トイレに要する費用【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基/工事（施工箇所）※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

3. ~~その他~~

~~快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。~~

その他

みんなで、適切な賃金水準を確保！ 社会保険等への加入を徹底！

まじめに働く職人が報われるために



【現状と課題】

- ◆ 近年、建設投資の大幅な減少に伴う競争激化のしわ寄せが、労働者の賃金低下をもたらし、若年入職者が大きく減少
- ◆ 今、適切な対策を講じなければ、将来の建設産業の存続が危惧される状況



適切な賃金水準の確保や社会保険等への加入徹底により、就労環境を改善し、若年者の入職が進むような職場とする必要があります。

- ◆ 適切な賃金水準の確保、社会保険等への加入徹底の観点から、本県では公共工事設計労務単価を平成25年4月に11.5%、平成26年2月には6.6%、平成27年2月には4.1%、平成28年2月には3.6%、平成29年3月には3.2%、平成30年3月には3.1%、平成31年3月には1.4%、令和2年3月には2.5%、令和3年3月には0.8%、令和4年3月には2.8%、令和5年3月には4.4%、令和6年3月には6.4%、令和7年3月には7.6%引き上げ、平成24年度に比べ約75.5%の上昇となりました。

技能労働者への適切な水準の賃金支払

- 適切な価格での下請契約を締結しましょう
- 技能労働者への適切な水準の賃金支払を元請から下請に要請しましょう
- 雇用する技能労働者の賃金水準を上げましょう

社会保険等への加入徹底

- 法定福利費相当額(労働者負担分及び事業主負担分)を適切に含んだ下請契約を締結しましょう
- 労働者に法定福利費相当額を適切に含んだ賃金を支払い、社会保険に加入させましょう

元請による下請への指導（社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン）

- 周知啓発や加入状況の定期把握、加入指導(2次以下を含む。)
- 未加入企業を下請企業に選定しない取扱いとすべき
- 新規入場者の受け入れに際し、適切な保険に加入させるよう下請企業を指導。加入が確認できない作業員の現場入場を認めない取扱いとすべき

☺ 社会保険適用除外者(従業員が4人以下の個人事業主や一人親方)や適切な保険に加入している作業員に対して、誤って社会保険等の加入を強制することのないように注意が必要

請負契約における法定福利費の確保（標準見積書の活用）

元請

- 発注者に対し法定福利費を含む金額による契約締結を求めましょう
- 専門工事業者に法定福利費が内訳明示された見積書の提示を求めるとともに、提示された場合、これを尊重しましょう

下請

- 法定福利費が内訳明示された見積書を活用等して、元請に見積提出しましょう



公共工事設計労務単価（主要 10 職種）変動率

鳥取県の公共工事設計労務単価は、全職種平均で平成 2 5 年に 1 1 . 5 %、平成 2 6 年 2 月に 6 . 6 %、平成 2 7 年 2 月に 4 . 1 %、平成 2 8 年 2 月に 3 . 6 %、平成 2 9 年 3 月に 3 . 2 %、平成 3 0 年 3 月に 3 . 1 %、平成 3 1 年 3 月に 1 . 4 %、令和 2 年 3 月に 2 . 5 %、令和 3 年 3 月に 0 . 8 %、令和 4 年 3 月に 2 . 8 %、令和 5 年 3 月に 4 . 4 %、令和 6 年 3 月に 6 . 4 %、令和 7 年 3 月に 7 . 6 %引き上げられ、平成 2 4 年度に比べ約 7 5 . 5 %の上昇となりました。主要 1 0 職種の引き上げ率は下表のとおりです。

職 種	単 価 (円)														
		対H24.4比	対H25.4比	対H26.2比	対H27.2比	対H28.2比	対H29.3比	対H30.3比	対H31.3比	対R2.3比	対R3.3比	対R4.3比	対R5.3比	対R6.3比	上昇率
	H24.4	H25.4	H26.2	H27.2	H28.2	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	R6.3	R7.3	対H24.4比
特殊 作業員	13, 800	10.9%	3.9%	1.3%	5.6%	0.0%	2.9%	4.0%	1.6%	0.5%	5.4%	2.0%	8.0%	6.0%	65.9%
		15, 300	15, 900	16, 100	17, 000	17, 000	17, 500	18, 200	18, 500	18, 600	19, 600	20, 000	21, 600	22, 900	
普通 作業員	10, 800	11.1%	4.2%	1.6%	8.7%	0.0%	2.9%	4.2%	1.4%	0.0%	3.3%	3.2%	5.0%	6.5%	65.7%
		12, 000	12, 500	12, 700	13, 800	13, 800	14, 200	14, 800	15, 000	15, 500	16, 000	16, 800	17, 900		
軽 作業員	9, 500	14.7%	3.7%	0.9%	6.1%	0.0%	3.3%	4.0%	1.5%	0.0%	0.0%	6.1%	8.6%	6.6%	70.5%
		10, 900	11, 300	11, 400	12, 100	12, 100	12, 500	13, 000	13, 200	13, 200	13, 200	14, 000	15, 200	16, 200	
とび工	15, 000	12.0%	7.1%	5.0%	5.3%	3.0%	3.4%	0.5%	2.3%	0.0%	5.0%	1.7%	3.4%	6.6%	71.3%
		16, 800	18, 000	18, 900	19, 900	20, 500	21, 200	21, 300	21, 800	21, 800	22, 900	23, 300	24, 100	25, 700	
鉄筋工	14, 900	12.1%	7.2%	5.0%	5.3%	2.5%	3.0%	0.5%	2.4%	0.0%	0.0%	0.9%	17.1%	6.3%	81.2%
運転手 (特殊)	12, 900	10.9%	3.5%	1.4%	5.3%	0.0%	3.2%	4.3%	1.8%	0.0%	4.0%	2.2%	7.6%	5.6%	62.0%
運転手 (一般)	11, 100	10.8%	4.9%	1.6%	6.1%	0.0%	2.9%	4.2%	1.3%	2.6%	5.2%	2.5%	8.4%	6.1%	73.0%
型わく 工	14, 600	12.3%	7.3%	5.1%	5.4%	2.6%	3.0%	0.5%	2.4%	2.8%	0.0%	6.4%	5.2%	6.1%	77.4%
大工	14, 900	12.1%	7.2%	5.0%	5.3%	2.5%	3.0%	0.5%	2.4%	0.0%	0.0%	5.6%	3.5%	6.4%	67.8%
		16, 700	17, 900	18, 800	19, 800	20, 300	20, 900	21, 000	21, 500	21, 500	21, 500	22, 700	23, 500	25, 000	
左官	14, 200	12.0%	7.5%	5.3%	5.6%	2.6%	3.1%	0.5%	2.0%	0.0%	0.0%	4.9%	3.7%	8.9%	71.8%
		15,900	17,100	18,000	19,000	19,500	20, 100	20, 200	20, 600	20, 600	20, 600	21, 600	22, 400	24, 400	

【公共工事設計労務単価とは？】

- 公共工事の予定価格の算出に用いる積算用の単価で、作業員やとび工など技能労働者 5 1 職種について定めています。
- 各職種の通常の作業条件及び作業内容の労働（所定時間内）に対する単価で、時間外等の割増賃金や作業内容を超えた特殊な労働に対する賃金は含まれていません。
- 労務単価の内訳は次のとおりです。

労務単価 = 1. 基本給相当額 + 2. 基準内手当 + 3. 臨時の給与 + 4. 実物給与
 1. 基本給相当額 基本給（**法定福利費本人負担分相当額を含む。**）及び出来高給
 2. 基準内手当 家族手当、通勤手当、住宅手当、技能手当など
 3. 臨時の給与 賞与（ボーナス）など
 4. 実物給与 通勤定期や食事の支給など

注：法定福利費事業主負担分は、現場管理費に計上されています（労務単価には、法定福利費事業主負担分は含まれていません。）。

- 新しい労務単価は、労務費調査により賃金の支払い実態を把握し、その結果を基に決定します。よって、**労務単価が適切な水準に維持されるためには、末端の下請企業の技能労働者に至るまで持続可能性を確保できる水準の賃金が適切に支払われることが重要となります。**

【例】普通作業員（17,900 円／日、20 日／月勤務）の場合

月当たり 17,900(円/日)×20(日)=358,000 円となり、これは上記枠内の 1 . ～ 4 . により算定した年収（4,296 千円）を 12 ヶ月で除したものに相当し、法定福利費（雇用保険、医療保険及び年金保険）の本人負担相当額（約 1 5 %）が含まれています。

鳥取県県土整備部県土総務課

公共工事設計労務単価と法定福利費

－ 適正な金額での下請契約のために －

公共工事設計に計上されている各工種の労務費及び諸経費（現場管理費）には、法定福利費が含まれています。下請契約にあたっては、法定福利費相当額（労働者負担分及び事業主負担分）を適切に含んだ金額で締結してください。

また、労働者に法定福利費相当額を含んだ賃金を支払い、社会保険等への加入を徹底しましょう。
なお、法定福利費相当額（労働者負担分及び事業主負担分）の算出にあたっては、下記を参考にしてください。

代表的な専門工種の労務に係る法定福利費相当額の算定例（R7.3月以降）

■標準単価（公共工事設計標準歩掛及び労務単価による）

各工種の標準的な積算条件による単価は以下のとおり（直接工事費原価ベース）ですが、詳細な積算条件等は、公表設計書をご覧ください。

工種名	規格	単位	標準単価		
				労務費	器具及び諸雑費
鉄筋工 ※1	D10～D51	t	59,000 円 (100.0%)	57,466 円 (97.4%)	1,534 円 (2.6%)
足場工	手摺先行型 足場	掛㎡	4,332 円 (100.0%)	2,435 円 (56.2%)	1,897 円 (43.8%)
型枠工 ※2	鉄筋・無筋 構造物	㎡	8,165 円 (100.0%)	6,639 円 (81.3%)	1,526 円 (18.7%)

※1 鉄筋工の値は、鉄筋材料費を含まず、また市場単価のため、H4歩掛の構成比率から算定。

※2 型枠工の値は、施工パッケージのため、構成比から法定福利費の対象となる労務費を算定。

詳細な内訳は、下記ホームページを参照してください。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/tekiseishitauke/>

注）下請金額には、上記の標準単価の他に、運搬費、会社経費等の諸経費の計上が必要で

■法定福利経費の算出

	①標準単価 (直接工事費原価)	②うち労務費		③事業主負担分 法定福利費 (現場管理費分に計上)
			うち労働者負担分 法定福利費	
鉄筋工	59,000 円/t	57,466 円/t	8,941 円/t	9,390 円/t
足場工	4,332 円/掛㎡	2,435 円/掛㎡	378 円/掛㎡	398 円/掛㎡
型枠工	8,165 円/㎡	6,639 円/㎡	1,033 円/㎡	1,086 円/㎡

◎労働者負担分の算定式 労務費×155.60÷1,000

◎事業主負担分の算定式 労務費×163.70÷1,000

※R7.3月以降の率

●元請から下請事業主に支払われる部分 ⇒①(単価)＋③(事業主負担分法定福利費)

●下請事業主から下請労働者に支払われる部分 ⇒②(労務費)

※労務費に労働者負担分法定福利費を含む

鳥取県県土整備部技術企画課

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 数	上 量	設 数	計 量	摘 要
道路改良					式	1				
	道路土工				式	1				
		残土処理工			式	1				
			土砂等運搬	土砂	m3	40	40.5			
			残土処分	土砂	m3	40	40.5			
	排水構造物工				式	1				
		作業土工			式	1				
			床掘り	土砂	m3	100	96.2			
			埋戻し	購入土	m3	50	48.6			
			埋戻し	流用土	m3	10	7.9			
		側溝工			式	1				
			自由勾配側溝	9号横断用自由勾配側溝 FSC-B1200×H1000	m	16.1	16.1			
			プレキャストU型側溝	角フリューム FS-250	m	3	3.2			
			側溝蓋	9号横断用自由勾配側溝 グレーチング B1200×L1000	枚	3	3.0			
		管渠工			式	1				
			ヒューム管	CP1-RC1-D300	m	7	7.0			
			重圧管	D300	m	11	11.1			
			暗渠排水管	塩ビ管 VU150	m	11	10.6			

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 別種	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 数	上 量	設 数	計 量	摘 要
		集 水 枳 工			式	1				
			33 号 集 水 枳	B700×L700×H1300	箇所	1	1.0			
			34 号 集 水 枳	B500×L500×H400	箇所	1	1.0			
		取 水 施 設 工			式	1				
			用 水 調 節 器	φ150用	箇所	2	2.0			
	舗 装 工				式	1				
		アスファルト 舗 装 工			式	1				
			表 層	再生密粒度アスコン13 t=5cm	m2	23	23.3			
			上 層 路 盤	粒度調整碎石 M-30 t=10cm	m2	23	23.3			
			下 層 路 盤	再生碎石 RC-30 t=10cm	m2	23	23.3			
	構造物撤去工				式	1				
		作 業 土 工			式	1				
			埋 戻 し	流用土	m3	40	42.2			
		構造物取壊し工			式	1				
			コンクリート取壊し	無筋構造物	m3	27	26.9			
			コンクリート取壊し	鉄筋構造物	m3	2	2.0			
			舗 装 版 切 断	アスファルト舗装 t=5cm	m	23	22.6			
			舗 装 版 破 碎	アスファルト舗装 t=5cm	m2	23	23.0			

表

[illegible]

積 算 参 考 資 料
(契約図書ではありません)

工 事 設 計 書

施 工 年 度	令和 07 年度
事 業 区 分	補助（社会資本整備総合交付金事業）
路 線 名 等 河 川 名 等	町道中山インター線
工 事 名	町道中山インター線改良工事（7工区）
施 工 位 置	西伯郡大山町赤坂
設 計 金 額	
工 事 概 要	道路改良工事 L = 38.6 m 道路土工 1 式 排水構造物工 プレキャストU型側溝 L = 3 m 自由勾配側溝 L = 16.1 m ヒューム管 L = 7 m 重圧管 L = 11 m 集水枥 N = 2 箇所 舗装工 1 式 構造物撤去工 1 式

総括情報表

頁0-0002

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	89 大山町 設計書 当初 07-*****-00005-10 0 1 実施単価 27 大山町 (旧中山町) 00-07.09.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 ICT施工有無 週休二日補正係数	04 道路改良 00 率計上しない 19 補正なし 00 通常工事 0 % 01 金銭保証 (0. 0 4 %) 01 豪雪割増あり 00 千円止め (土木) 01 算出する 00 ICT施工を使用しない 13 完全週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
道路改良										Y1E01	(1^1)
道路土工					一式					Y1E0101	(1^2)
残土処理工					一式					Y1E010110	(1^3)
土砂等運搬					一式					Y1E01011002	(1^4)
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)					m3					SPK24040002 00 A=2,B=5,C=1,D=1,F=45	
		40			m3					単第0 -0001 表	070910
残土等処分										Y1E01011003	(1^4)
					m3						
投棄料										#0041 C=投棄料	
					一式						
建設残土投棄料 株式会社赤松産業 西伯郡大山町加茂字ヨゴロ4310-2外9筆 鳥取県単価2025年9月号147-2頁参照										T0001 00	
		40			m3						070910 9

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工						Y1E0109 (㌔㌔2)
			一式			
作業土工						Y1E010901 (㌔㌔3)
			一式			
床掘り						Y1E01090102 (㌔㌔4)
			m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)						SPK24040015 00 A=1,B=5,E=1
	100		m3			単第0 -0002 表 070910
埋戻し						Y1E01090103 (㌔㌔4)
			m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)						SPK24040020 00 A=5,B=1,D=1
	60		m3			単第0 -0003 表 070910
土材料						Y1E01090113 (㌔㌔4)
			m3			
山土 C B R ≥ 1 2						TTM0052 00
	50		m3			070910
側溝工						Y1E010903 (㌔㌔3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自由勾配側溝					Y1E01090304 (16` 14)
		m			
自由勾配側溝 自由勾配側溝(各種) 2000<重量≤2900 FSC-B1200×H1000	16.1	m			SDT00015 00 A=1,B=50,C=1,D=3,E=1,F=1,G=2,I=1.660,J=1 ,L=4.740,M=1 単第0 -0004 表 070910
プレキャストU型側溝					Y1E01090301 (16` 14)
		m			
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本 FS-250	3	m			SDT00013 00 A=1,B=5,D=4,E=3,F=6,G=1,I=1,J=1,K=2,N=0. 390 単第0 -0005 表 070910
側溝蓋		枚			Y1E01090305 (16` 14)
蓋版 蓋版(各種) 40<重量≤170 グレーチング B1200×L1000	3	枚			SDT00017 00 A=1,B=9,D=2,E=2,F=1,G=1 単第0 -0006 表 070910
管渠工		一式			Y1E010904 (16` 13)
ヒューム管(B形管)		m			Y1E01090402 (16` 14)
ヒューム管(B形管) 据付 管径300mm 固定基礎90°巻き 基礎碎石有り 外圧管1種	7	m			SPK24040090 00 A=1,B=3,C=1,D=1,E=1,G=1,H=1,I=1 単第0 -0007 表 070910

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート台付管						Y1E01090404 (レベル4)
			m			
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径300mm 台付鉄筋コンクリート管(重圧管)						V0001 00
	11		m			単第0 -0008 表 070910
暗渠排水管						Y1E01090403 (レベル4)
			m			
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm						SPK24040092 00 A=1,B=1,C=1,D=52,G=1,I=1
	11		m			単第0 -0013 表 070910
集水桝・マンホール工						Y1E010905 (レベル3)
			一式			
現場打ち集水桝						Y1E01090502 (レベル4)
			箇所			
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-40BB 1.03m3を超え1.09m3以下 33号集水桝	1		箇所			V0002 00 単第0 -0014 表 070910
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-40BB 0.22m3を超え0.24m3以下 34号集水桝	1		箇所			V0003 00 単第0 -0017 表 070910
舗装工						Y1E0204 (レベル2)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装工						Y1E020404 (レ`ル3)
			一式			
下層路盤(車道・路肩部)						Y1E02040401 (レ`ル4)
			m2			
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30						SPK24040233 00 A=100,B=3,D=1
	23		m2			単第0 -0019 表 070910
上層路盤(車道・路肩部)						Y1E02040403 (レ`ル4)
			m2			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 M-30						SPK24040235 00 A=100,B=2,D=1
	23		m2			単第0 -0020 表 070910
表層(車道・路肩部)						Y1E02040409 (レ`ル4)
			m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm						SPK24040241 00 A=3,B=50,C=7,E=2,G=1,H=1,I=1
	23		m2			単第0 -0021 表 070910
構造物撤去工						Y1E0112 (レ`ル2)
			一式			
作業土工						Y1E011204 (レ`ル3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し					Y1E01120403 (レベル4)
		m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040020 00 A=5,B=1,D=1
	40	m3			単第0 -0003 表 070910
構造物取壊し工					Y1E011206 (レベル3)
		一式			
コンクリート構造物取壊し					Y1E01120601 (レベル4)
		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00 A=1,B=1,C=1,D=1
	27	m3			単第0 -0022 表 070910
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					SDT00033 00 A=1,B=1,C=1,D=1
	2	m3			単第0 -0023 表 070910
舗装版切断					Y1E01120602 (レベル4)
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00 A=1,B=1,E=1
	23	m			単第0 -0024 表 070910
舗装版破碎					Y1E01120603 (レベル4)
		m2			

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下									SPK24040305 00 A=1,B=1,C=1,D=1,F=1,G=1	
	23		m	2					単第0 -0025 表	070910
運搬処理工									Y1E011216 (レベル3)	
				一式						
殻運搬									Y1E01121601 (レベル4)	
				m	3					
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	27		m	3					SPK24040151 00 A=1,B=1,C=1,D=61,E=1	
									単第0 -0026 表	070910
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	2		m	3					SPK24040151 00 A=2,B=1,C=1,D=61,E=1	
									単第0 -0027 表	070910
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超)	1		m	3					SPK24040151 00 A=3,B=3,C=1,D=59,E=1	
									単第0 -0028 表	070910
殻処分									Y1E01121602 (レベル4)	
				m	3					
投棄料									#0041 C=投棄料	
				一式						
無筋コンクリート塊投棄料 株式会社大協組 米子市淀江町稲吉字久坂平997 鳥取県単価2025年9月号180頁参照	63		t						T0002 00	070910 9

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
有筋コンクリート塊投棄料									T0003	00
株式会社大協組										
米子市淀江町稲吉字久坂平997										070910
鳥取県単価2025年9月号180頁参照	5		t							9
アスファルトコンクリート塊投棄料									T0004	00
株式会社大協組										
米子市淀江町稲吉字久坂平997										070910
鳥取県単価2025年9月号182頁参照	3		t							9
※※直接工事費※※										
共通仮設費										
※※共通仮設費計※※										
※※純工事費※※										
現場管理費										
※※工事原価※※										
一般管理費率										
分										

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費						
一般管理費計						
工事価格						
消費税相 当額						
工事費計						

施工単価表

頁0-0012

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0001 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42%

材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=45 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

床掘り
土砂 上記以外(小規模)

SPK24040015

施工単価表

単第0 -0002 表

頁0-0013

機械構成比： 19.87% 労務構成比： 72.99% 材料構成比： 7.14% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
特殊運転手	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0-0014

埋戻し
土砂

SPK24040020

単第0 -0003 表

1

m3 当り

機械構成比： 9.48%		労務構成比： 86.47%		材料構成比： 4.05%		市場単価構成比： 0.00%		標準単価： 1	
上記以外(小規模)		構成比		単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	
代表機労材規格		構成比		単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		8.90%				バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3			
タンバ及びランマ 質量60～80kg		0.58%				タンバ及びランマ ランマ 質量60～80kg			
普通作業員		49.42%				普通作業員			
特殊作業員		19.17%				特殊作業員			
特殊運転手		17.88%				運転手(特殊)			
軽油 小型ローリー (パトロール給油)		3.20%				軽油パトロール給油			
ガソリン レギュラー スタンド		0.85%				ガソリンレギュラースタンド			
積算単価						積算単価			
A=5 上記以外(小規模) D=1 -(全ての費用)						B=1 土砂			

施 工 単 価 表

頁0-0015

自由勾配側溝

SDT00015

単第0 -0004 表

自由勾配側溝(各種) 2000<重量≤2900

FSC-B1200×H1000

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_2000を超え2900kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			TDT000785
自由勾配式側溝(横断)1枚グレーチング仕様 B1200×H1000×2000(1枚蓋用) 参考質量2215kg	0.500	個			F0000000001 見積単価
再生クラッシャーラン RC-40	0.199	m3			TTPC00008
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	0.502	m3			TTPCD0010
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 【F】自由勾配側溝(2m/本) E=1 時間的制約なし			B=50 D=3 F=1	自由勾配側溝(各種) 2000<重量≤2900 -	
G=2 RC-40 J=1 18-8-40BB M=1 -			I=1.66 L=4.74	基礎碎石の設計数量(m3/10m) 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)	

U型側溝
U型側溝(各種) L=2000mm/本

FS-250

SDT00013

施 工 単 価 表

単第0 -0005 表

頁0-0016

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			TDT000725
角フリューム (ソケット付) 250 250×250×2000 鳥取県認定グリーン商品	0.500	本			F0000000004 鳥取県単価2025年9月号165頁参照
再生クラッシャーラン RC-40	0.047	m3			TTPC00008
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=4 【F】 U型側溝(本) F=6 1000≧重量			B=5 U型側溝(各種) E=3 L=2000mm/本 G=1 時間的制約なし		
I=1 - K=2 RC-40			J=1 - N=0.39 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		

施 工 単 価 表

頁0-0017

蓋版
蓋版(各種) 40<重量≤170

SDT00017

グレーチング B1200×L1000

単第0 -0006 表

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			TDT000819
グレーチング(自由勾配側溝) T-25横断B1200 L1000 1枚用 普通目 参考質量139kg	1.000	枚			F0000000002 見積単価
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 昼間施工 D=2 【F】蓋版(枚) F=1 時間的制約なし			B=9 蓋版(各種) E=2 40<重量≤170 G=1 -		

施 工 単 価 表

頁0-0018

ヒューム管(B形管)

SPK24040090

単第0 -0007 表

据付 管径300mm 固定基礎90°巻き

基礎碎石有り 外圧管1種

1

m 当り

機械構成比: 2.40%

労務構成比:

58.63%

材料構成比:

38.97%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) クレーン付 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t	2.15%		バックハウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
型わく工	7.63%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
特殊運転手	5.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ヒューム管(外圧管1種) B形 300×30×2000 建設物価2025年9月号311頁参照	30.41%		ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm		TTPC00109 TTPT00109
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	7.02%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003

施 工 単 価 表

頁0-0019

ヒューム管(B形管)

SPK24040090

単第0 -0007 表

据付 管径300mm 固定基礎90°巻き

基礎碎石有り 外圧管1種

1

m 当り

機械構成比： 2.40%

労務構成比：

58.63%

材料構成比：

38.97%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.38%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 固定基礎90°巻き E=1 外圧管1種 H=1 -			B=3 管径300mm D=1 基礎碎石有り G=1 18-8-40BB I=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

頁0-0020

鉄筋コンクリート台付管
据付 管径300mm

V0001

台付鉄筋コンクリート管(重圧管)

単第0 -0008 表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径300mm 台付鉄筋コンクリート管(重圧管)	10	m			SPK24040097 単第0-0009 表
モルタル練 高炉	0.054	m3			SPK24040154 単第0-0010 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設	0.480	m3			SPK24040153 単第0-0011 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2.000	m2			SPK24040155 単第0-0012 表
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

頁0-0021

鉄筋コンクリート台付管

据付 管径300mm

機械構成比： 5.95% 労務構成比： 28.30%

SPK24040097

台付鉄筋コンクリート管(重圧管)

材料構成比： 65.75%

単第0 -0009 表

1

m 当り

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	4.84%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	7.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	4.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
重圧管(外圧管1種) 300×2000 鳥取県認定グリーン商品	63.26%		鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm		TTPCD0411 TTPT00134
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

鉄筋コンクリート台付管

SPK24040097

単第0 -0009 表

据付 管径300mm

台付鉄筋コンクリート管(重圧管)

1

m 当り

機械構成比： 5.95%

労務構成比： 28.30%

材料構成比： 65.75%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 台付鉄筋コンクリート管(重圧管)			B=3 管径300mm E=1 -(全ての費用)		

モルタル練
高炉

SPK24040154

施工単価表

単第0 -0010 表

頁0-0023

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント (高炉B) 2 5 k g 袋入	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
砂細目(洗い) コンクリート用	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

頁0-0024

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0011 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

頁0-0025

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0011 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比： 3.79%

労務構成比： 35.68%

材料構成比： 60.53%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

SPK24040155

単第0 -0012 表

型枠
一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

暗渠排水管

据付 直管 50～150mm

機械構成比： 0.00%

労務構成比：

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm

43.69%

材料構成比： 56.31%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

1

頁0-0027

m 当り

施工単価表

単第0 -0013 表

SPK24040092

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	31.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
硬質ポリ塩化ビニル管 V U 1 5 0	56.31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0404 TTPT00188
鳥取県単価2025年9月号689頁参照 m換算 積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50～150mm G=1 -			B=1 直管 D=52 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm I=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

頁0-0028

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
18-8-40BB

V0002

1.03m3を超え1.09m3以下

33号集水桝

単第0 -0014 表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-40BB 1.03m3を超え1.09m3以下	1	箇所			SPK24040105 単第0-0015 表
蓋版 蓋版(各種) 40<重量≤170	1	枚			SDT00017 単第0-0016 表
マンホール用足掛金物 ノーブレンロフティーステップ M25S-RF 現場打用 Φ19相当品	3	個			T0005 月間積算資料2025年7月号461頁参照
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

頁0-0029

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK24040105

単第0 -0015 表

18-8-40BB

1.03m3を超え1.09m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 1.05%

労務構成比:

83.27%

材料構成比: 15.68%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	0.93%		バックハウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1~3,2011,2014	0.07%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	33.71%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	21.60%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	14.84%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003

施 工 単 価 表

頁0-0030

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK24040105

単第0 -0015 表

18-8-40BB

1.03m3を超え1.09m3以下

1

箇所 当り

機械構成比： 1.05%

労務構成比：

83.27%

材料構成比：

15.68%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 18-8-40BB D=1 バックハウ(クレーン機能付)打設 F=1 -			C=27 1.03m3を超え1.09m3以下 E=1 一般養生・特殊養生(練炭)		

施 工 単 価 表

SDT00017

単第0 -0016 表

蓋版
蓋版(各種) 40<重量≤170

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			TDT000819
グレーチング(集水ます) T-25 700×700用	1.000	枚			F0000000003 鳥取県単価2025年9月号64頁参照
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 昼間施工 D=3 【F】蓋版(枚) F=1 時間的制約なし			B=9 蓋版(各種) E=2 40<重量≤170 G=1 -		

施 工 単 価 表

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
18-8-40BB

V0003
0.22m3を超え0.24m3以下

34号集水桝

単第0 -0017 表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-40BB 0.22m3を超え0.24m3以下	1	箇所			SPK24040105 単第0-0018 表
用水調節器 B型 呼名150 H400 L200	2	基			T0006
諸雑費	1	式			鳥取県単価2025年9月号125頁参照 #91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

頁0-0033

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK24040105

単第0 -0018 表

18-8-40BB

0.22m3を超え0.24m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.09%

労務構成比:

89.00%

材料構成比:

10.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1~3,2011,2014	0.09%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	34.95%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	29.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	10.52%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施 工 単 価 表

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK24040105

単第0 -0018 表

18-8-40BB

0.22m3を超え0.24m3以下

1

箇所 当り

機械構成比： 0.09% 労務構成比： 89.00% 材料構成比： 10.91% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		E9999
A=3 D=2 F=1	18-8-40BB 人力打設 -		C=2 E=1	0.22m3を超え0.24m3以下 一般養生・特殊養生(練炭)	

施 工 単 価 表

頁0-0035

下層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK24040233

単第0 -0019 表

RC-30

1

m2 当り

機械構成比： 5.62% 労務構成比：

72.88%

材料構成比： 21.50%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08m3)	2.91%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗式コンバインド型) 質量3～4t	2.55%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	30.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	26.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン RC-30	19.41%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

下層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK24040233

単第0 -0019 表

RC-30
機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		

施 工 単 価 表

上層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK24040235

単第0 -0020 表

機械構成比： 5.20% 労務構成比： M-30 67.43% 材料構成比： 27.37% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08m3)	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗式コンバインド型) 質量3～4t	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
粒度調整碎石 M-30	25.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0021 TTPT00360
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

上層路盤(歩道部)
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK24040235

単第0 -0020 表

機械構成比： 5.20% 労務構成比： M-30 67.43% 材料構成比： 27.37% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=2 M-30		

施工単価表

頁0-0039

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK24040241

1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0021 表

1

m2 当り

機械構成比: 1.61% 労務構成比: 13.99% 材料構成比: 84.40% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3m	1.03%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗式コンバインド型) 質量3～4t	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t	0.19%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	3.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0040

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK24040241

1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0021 表

1

m2 当り

機械構成比： 1.61% 労務構成比： 13.99% 材料構成比： 84.40% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
再生密粒度アスコン (13)	77.40%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工

SDT00031

施 工 単 価 表

単第0 -0022 表

頁0-0041

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001561
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施 工 単 価 表

SDT00033

単第0 -0023 表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)
機械施工

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001573
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施 工 単 価 表

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK24040306

アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0024 表

1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

アスファルト舗装版

機械構成比： 15.42%

勞務構成比：

アスファルト舗装版厚15cm以下

57.13% 材料構成比： 27.45%

SPK24040306

施工単価表

單第0 -0024 表

1

標準単価：

[illegible]

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比： 13.49%

労務構成比：

SPK24040305
障害等無し 舗装版厚15cm以下

80.49%

材料構成比： 6.02%

施工単価表

単第0 -0025 表

頁0-0045

1

m2 当り

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	13.49%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0046

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0026 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比： 41.69%

労務構成比：

43.88%

材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

頁0-0047

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0027 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比： 41.69%

労務構成比：

43.88%

材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=59 運搬距離22.0km以下(11.5km超)		

見積り価格一覧（税抜き）

名 称	規 格	単 位	価格(円)	備 考
自由勾配側溝	B1200×H1000 L=2000 横断用	個	224,500 円	
グレーチング	B1200 型 L=1000 T-25	枚	154,000 円	

町道中山インター線改良工事（7工区）

数 量 計 算 書

大山町建設課

設 計 数 量 総 括 表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	摘要
道路改良							
	道路土工						
		残土処理工					
			土砂等運搬	土砂	m3	40.5	
			残土処分	土砂	m3	40.5	
	排水構造物工						
		作業土工					
			床掘り	土砂	m3	96.2	
			埋戻し	購入土	m3	48.6	
			埋戻し	流用土	m3	7.9	
		側溝工					
			自由勾配側溝	9号横断用自由勾配側溝 FSC-B1200×H1000	m	16.1	
			プレキャストU型側溝	角フリューム FS-250	m	3.2	
			側溝蓋	9号横断用自由勾配側溝 グレーチング B1200×L1000	枚	3.0	
		管渠工					
			ヒューム管	CP1-RC1-D300	m	7.0	
			重圧管	D300	m	11.1	
			暗渠排水管	塩ビ管 VU150	m	10.6	

1 レ 工 事 区 分	2 レ 工 事 種 別	3 レ 工 事 種 別	4 レ 工 事 種 別	5 レ 工 事 種 別	単 位	数 量	摘 要
		集 水 柵 工					
			33 号 集 水 柵	B700×L700×H1300	箇所	1.0	
			34 号 集 水 柵	B500×L500×H400	箇所	1.0	
		取 水 施 設 工					
			用 水 調 節 器	φ150用	箇所	2.0	
	舗 装 工						
		ア ス フ ァ ル ト 舗 装 工					
			表 層	再生密粒度アスコン13 t=5cm	m2	23.3	
			上 層 路 盤	粒度調整碎石 M-30 t=10cm	m2	23.3	
			下 層 路 盤	再生碎石 RC-30 t=10cm	m2	23.3	
	構 造 物 撤 去 工						
		作 業 土 工					
			埋 戻 し	流用土	m3	42.2	
		構 造 物 取 壊 し 工					
			コンクリート取壊し	無筋構造物	m3	26.9	
			コンクリート取壊し	鉄筋構造物	m3	2.0	
			舗 装 版 切 断	アスファルト舗装 t=5cm	m	22.6	
			舗 装 版 破 碎	アスファルト舗装 t=5cm	m2	23.0	

[illegible]

道路土工数量集計表

[illegible]

土 量 集 計 表

C= 0.90

工 種	機械掘削	表土剥取	路床盛土 (購入土)	路体盛土 (流用土)	路肩盛土	作業土工			発生土量	盛土（埋戻し）量		土工収支	備考
						床掘り 小規模	埋戻し 流用土	埋戻し 購入土		②	②/C		
									①			①-②/C	
土 工									0.0			0.0	
土 工									0.0			0.0	
作業土工(排水構造物)						96.2	7.9	48.6	96.2	7.9	8.8	87.4	
作業土工(構造物撤去)							42.2			42.2	46.9	-46.9	
合 計	0.0	0.0				96.2	50.1		96.2	50.1	55.7	40.5	

残土処分 = 40.5 m3

排水構造物工数量集計表

レベル 3 種 別	レベル 4 細 別	レベル 5 規 格	内 訳	単 位	数 量
作 業 土 工					
	床 掘 り	土砂	作業土工数量計算書参照	m3	96.2
	埋 戻 し	購入土	作業土工数量計算書参照	m3	48.6
	埋 戻 し	流用土	作業土工数量計算書参照	m3	7.9
側 溝 工					
	自 由 勾 配 側 溝	9号横断用自由勾配側溝 FSC-B1200×H1000	自由勾配側溝集計表参照	m	16.1
	プレキャストU型側溝	角フリューム FS-250	延長調書参照	m	3.2
	側 溝 蓋	9号横断用自由勾配側溝 グレーチング B1200×L1000	自由勾配側溝集計表参照	枚	3.0
管 渠 工					
	ヒ ュ ー ム 管	CP1-RC1-D300	延長調書参照	m	7.0
	重 圧 管	D300	延長調書参照	m	11.1
	暗 渠 排 水 管	塩ビ管 VU150	延長調書参照	m	10.6
集 水 枡 工					
	33 号 集 水 枡	B700×L700×H1300	延長調書参照	箇所	1.0
	34 号 集 水 枡	B500×L500×H400	延長調書参照	箇所	1.0
取 水 施 設 工					
	用 水 調 節 器	φ150用	延長調書参照	箇所	2.0

数量計算書

Technical drawing of a bridge cross-section. The drawing shows a central rectangular structure with a smaller rectangular opening in the center. The structure is supported by a base with two circular elements (likely piers or supports) on either side. Dimensions are provided in millimeters (mm):

- Overall width: 1460 mm
- Overall height: 1280 mm
- Height of the central opening: 1501 mm
- Height of the base: 150 mm
- Height of the central opening from the base: 1000 mm
- Height of the top section: 50 mm
- Height of the base section: 100 mm
- Height of the central opening from the base: 1330 mm
- Width of the base section: 300 mm
- Width of the central opening: 1560 mm
- Width of the base section: 300 mm

[illegible]

数量計算書

Technical drawing of a U-shaped component. The drawing shows a cross-section of the component, which has a U-shaped profile. The overall width of the component is 920. The width of the top flange is 300. The width of the web is 320. The width of the bottom flange is 300. The height of the top flange is 35. The height of the web is 250. The height of the bottom flange is 35. The component is shown in a perspective view, with the U-shape facing the viewer. The drawing includes dimension lines and arrows indicating the measurements.

床掘=0.4m²
埋戻=0.3m²

[illegible]

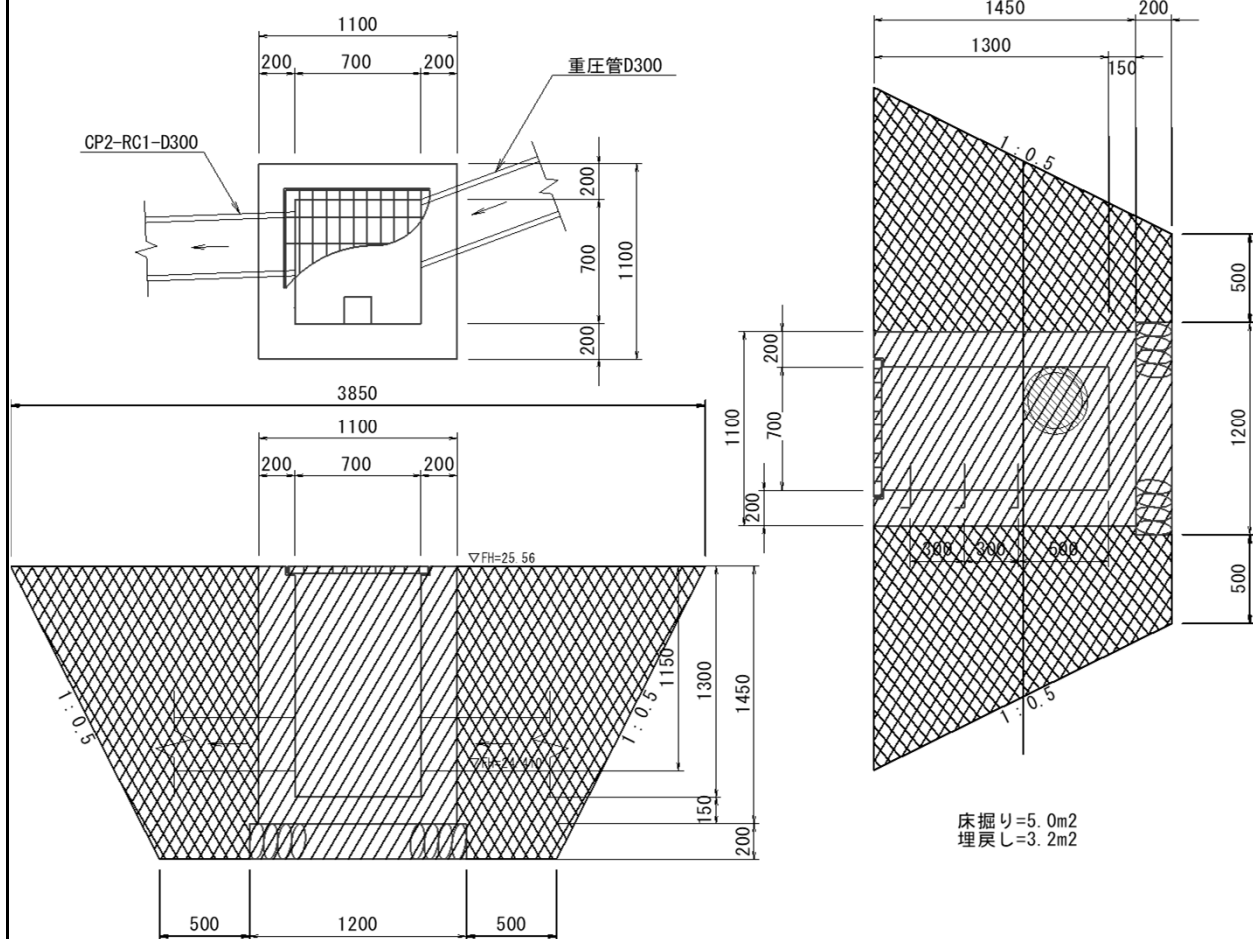
数量計算書

[illegible]

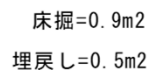
数量計算書

※面積はCAD計測による。

[illegible]

[illegible]

数量計算書

[illegible]

[illegible]

延 長 調 書

角フリューム FS-250

左 側			右 側		
位 置	延 長	摘 要	位 置	延 長	摘 要
NO. 27+14. 付近	3. 2	農道取合2 右側			
計	3. 2				

延長調書

管渠工

[illegible]

延 長 調 書

塩 び 管 VU150

左 側			右 側		
位 置	延 長	摘 要	位 置	延 長	摘 要
NO. 0+7. 9	9. 0	農道取合2 中央			
NO. 0+7. 9付近	1. 6	農道取合2 右側			
計	10. 6				

延 長 調 書

集水枋

[illegible]

延 長 調 書

取水施設

[illegible]

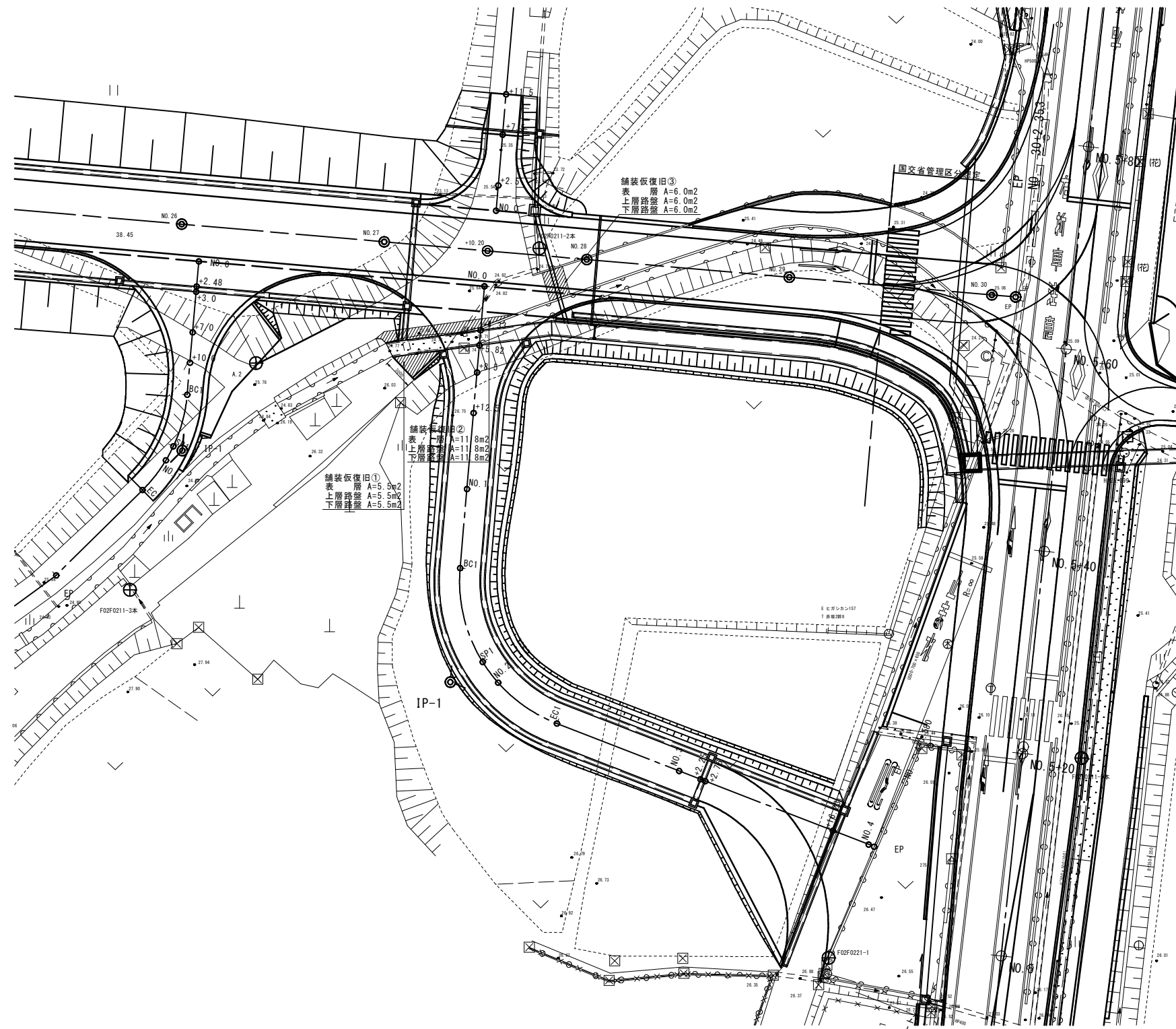
舗装工数量集計表

[illegible]

舗装工集計表

名 称 測 点	左右	車道舗装					舗装仮復旧			歩道舗装		適 用
		表 層	上層路盤	下層路盤	路肩表層	路肩路盤	表 層	上層路盤	下層路盤	表 層	路盤	
		t=5cm (m2)	t=15cm (m2)	t=20cm (m2)	t=5cm (m2)	t=15cm (m2)	t=5cm (m2)	t=10cm (m2)	t=10cm (m2)	t=3cm (m2)	t=10cm (m2)	
舗装仮復旧												
① NO. 27+4. 0付近	右側						5.5	5.5	5.5			
② NO. 27+6. 9付近	右側						11.8	11.8	11.8			
③ NO. 27+17. 2付近	右側						6.0	6.0	6.0			
							23.3	23.3	23.3			

舗装工（車道部 1）数量表
S=1:500



構造物撤去工数量集計表

レベル 3 種 別	レベル 4 細 別	レベル 5 規 格	内 訳	単 位	数 量
作 業 土 工					
	埋 戻 し	流用土	作業土工数量計算書参照	m3	42.2
構造物取壊し工					
	コンクリート取壊し	無筋構造物	撤去工集計表参照	m3	26.9
	コンクリート取壊し	鉄筋構造物	撤去工集計表参照	m3	2.0
	舗 装 版 切 断	アスファルト舗装 t=5cm	数量算出図参照	m	22.6
	舗 装 版 破 碎	アスファルト舗装 t=5cm	数量算出図参照	m2	23.0
運 搬 処 理 工					
	殻 運 搬	無筋構造物		m3	26.9
	殻 運 搬	鉄筋構造物		m3	2.0
	殻 運 搬	アスファルト殻	23.0m2 × 0.05	m3	1.2
	殻 処 分	無筋構造物	26.9m3 × 2.35	t	63.2
	殻 処 分	鉄筋構造物	2.0m3 × 2.50	t	5.0
	殻 処 分	アスファルト殻	1.2m3 × 2.35	t	2.8

構造物撤去工

作 業 土 工 数 量 計 算 書

測 点 番 号	距 離				摘 要	埋戻し			摘 要
		断 面	平均断面	立 方 米		断 面	平均断面	立 方 米	
NO. 27+10. 2									
NO. 27+14. 9	4. 7					1. 5	0. 75	3. 5	NO. 28 参照
NO. 28	5. 1					1. 5	1. 50	7. 7	
NO. 29	20. 0					1. 6	1. 55	31. 0	
小計	29. 8							42. 2	

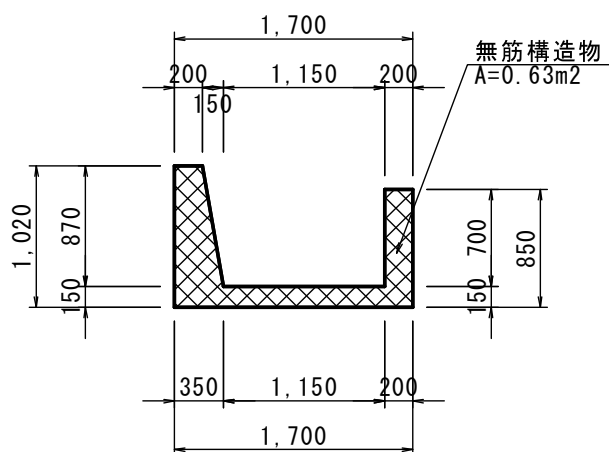
撤 去 工 集 計 表

名 称	左右	コンクリート取壊し			舗装版取壊し			舗装版切断	防護柵撤去	適 用
		無筋構造物	鉄筋構造物		t=5cm	t=3cm		(15cm以下)	Gr-C-4E	
		(m3)	(m3)		(m2)	(m2)		(m)	(m)	
コンクリート取壊し										
① U型水路撤去	右	5.2	2.0							撤去工数量計算書参照
② U型水路撤去	右	21.7								撤去工数量計算書参照
舗装版切断 (t=15cm以下)										
④ 舗装版切断								3.0		
⑤ 舗装版切断								13.9		
⑥ 舗装版切断								5.7		
舗装版取壊し (t=3～5cm)										
⑧ 舗装版破砕 t=5cm					6.4					
⑨ 舗装版破砕 t=5cm					10.6					
⑩ 舗装版破砕 t=5cm					6.0					
計		26.9	2.0		23.0			22.6		

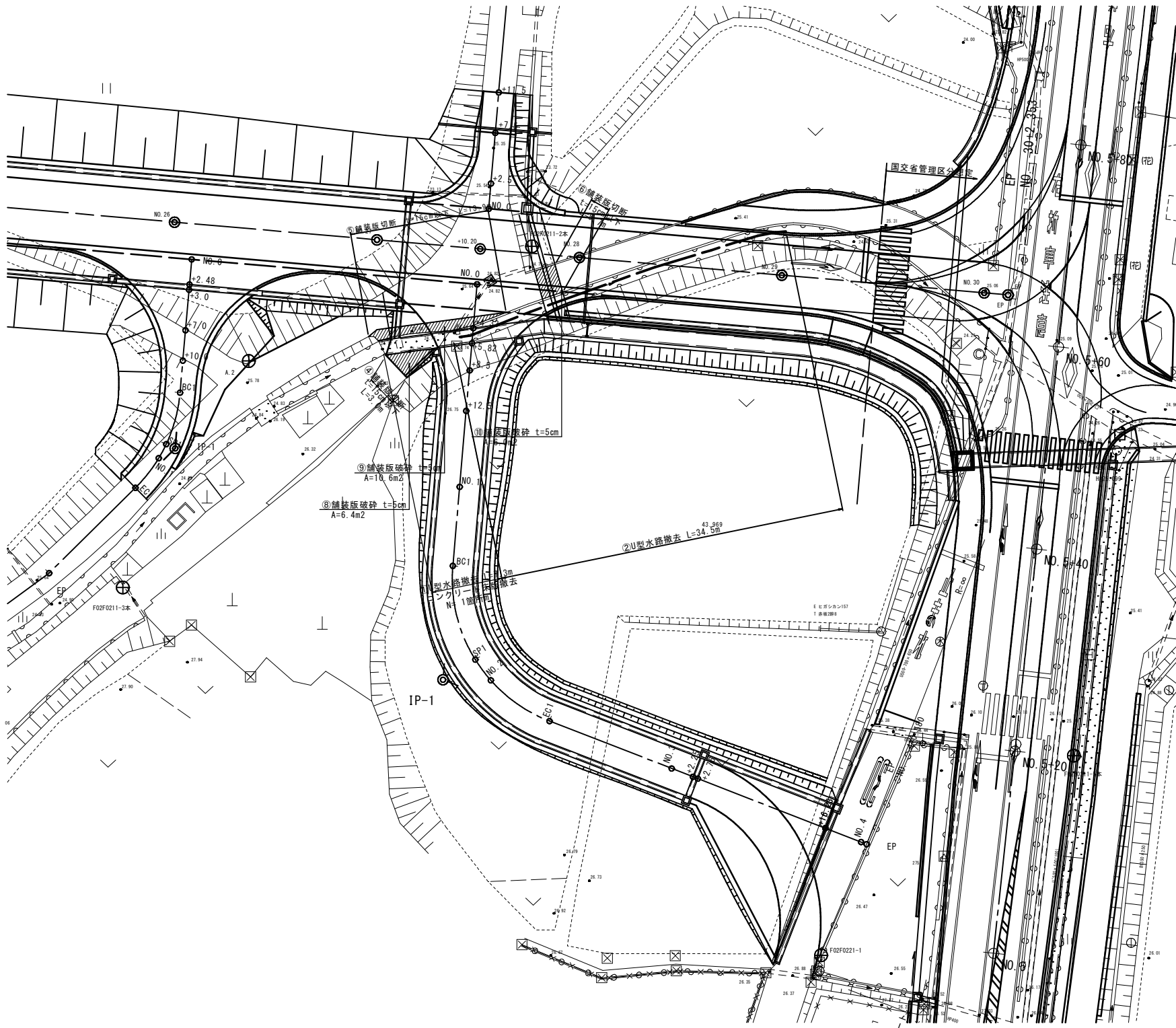
①U型水路 撤去

[illegible][illegible]

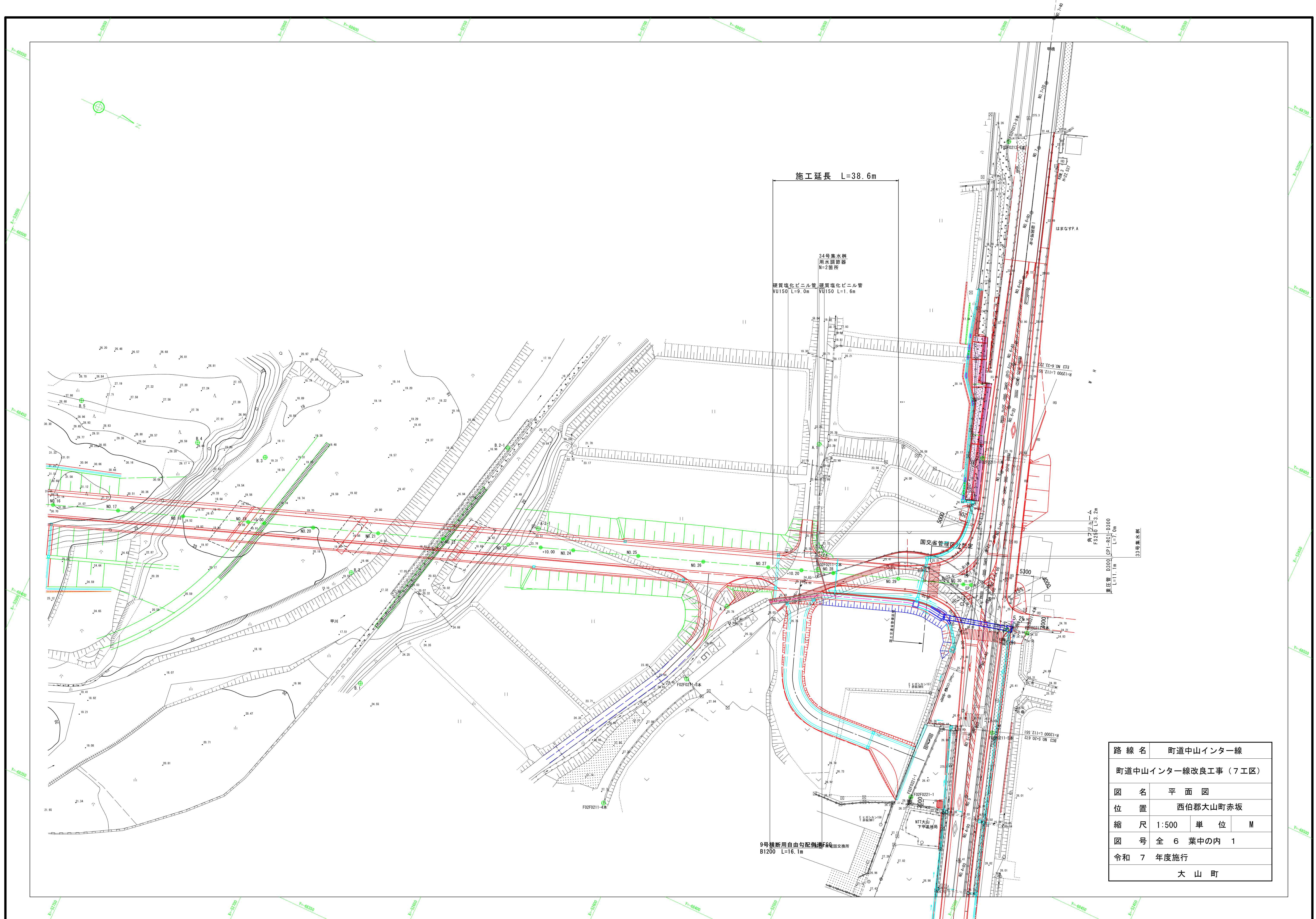
数量計算書

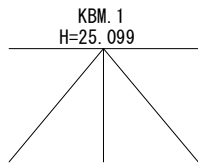
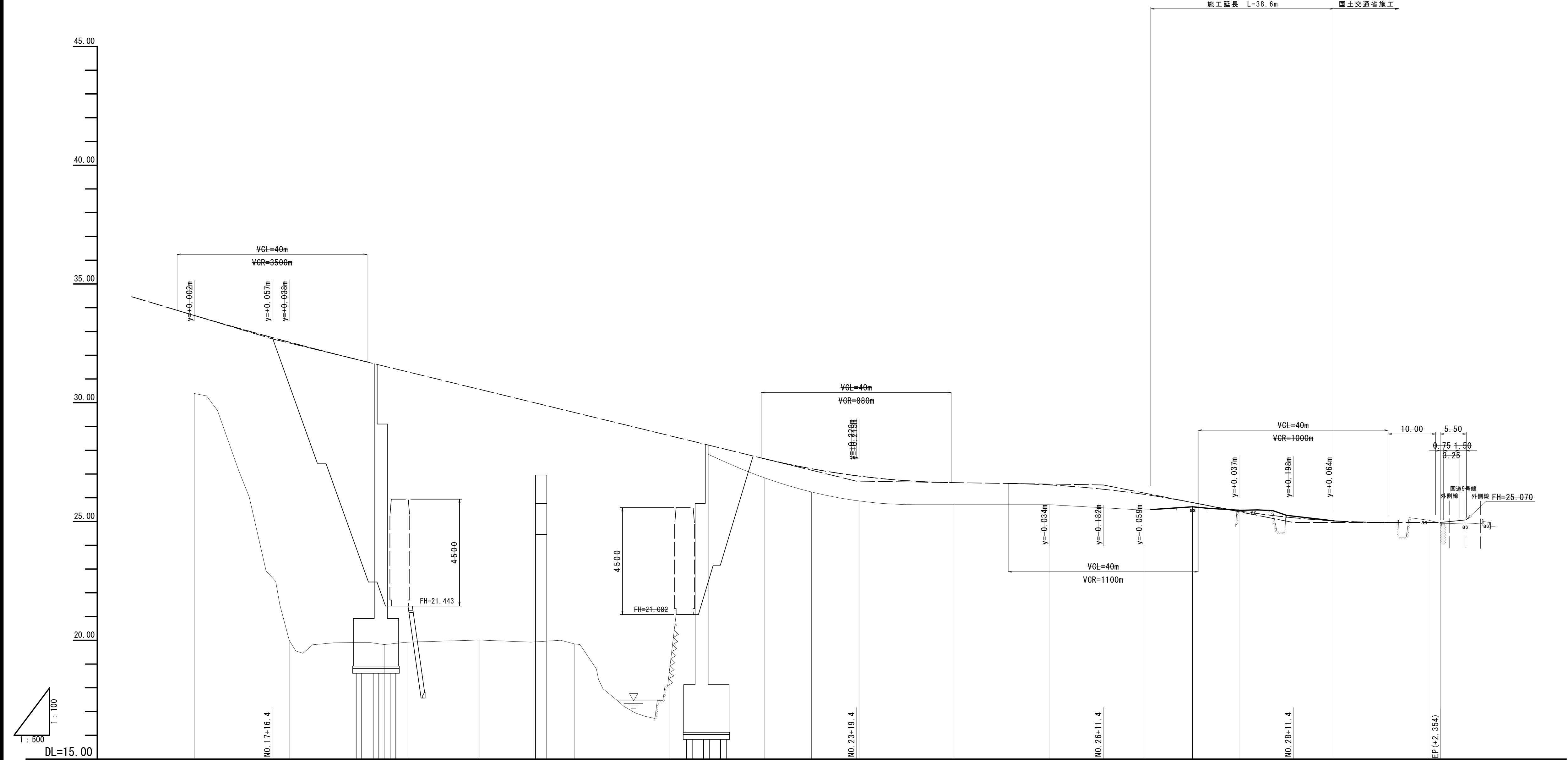
[illegible]

撤去工数量表
S=1:500



契 約 図 面



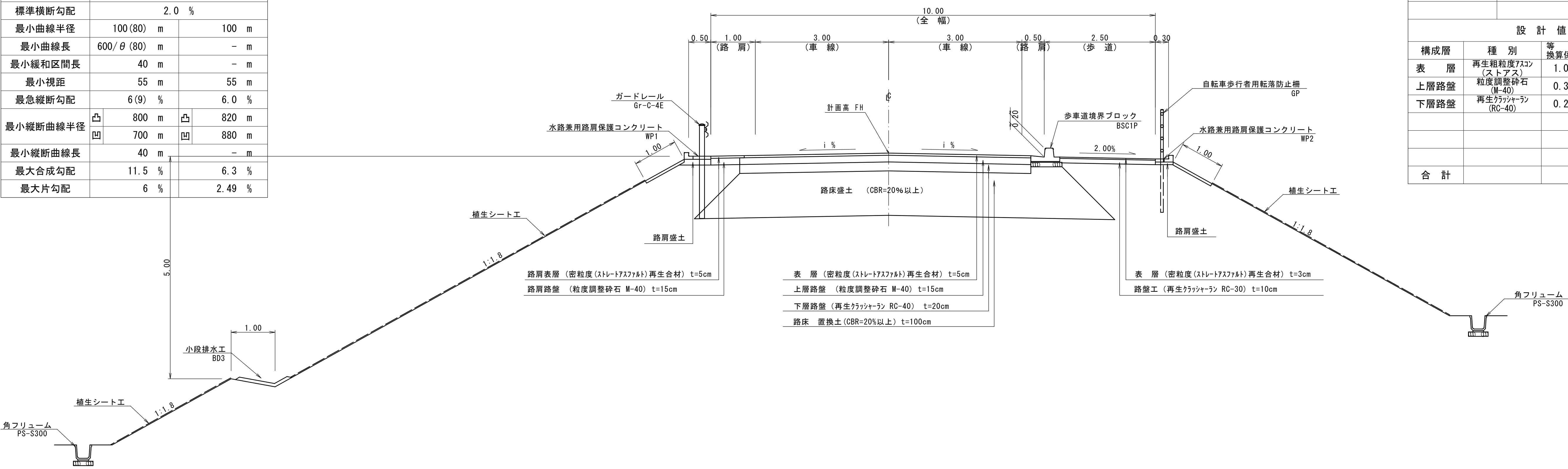


勾配	92.69	$i=4.87\%$ $L=123.00m$	26.70	$i=0.31\%$ $L=52.00m$	26.54	$i=3.95\%$ $L=40.00m$	24.96	Level $L=30.95m$	24.96
盛土									
切土									
計画高									
地盤高									
追加距離	340.000	380.000	420.000	460.000	500.000	540.000	580.000	620.000	660.000
単距離	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000
測点	NO. 17	NO. 18	NO. 19	NO. 20	NO. 21	NO. 22	NO. 23	NO. 24	NO. 25
曲線									
片附配図									
拡幅配図									

路 線 名	町道中山インター線		
町道中山インター線改良工事（7工区）			
図 名	縦断面図		
位 置	西伯郡大山町赤坂		
縮 尺	V=1:100 H=1:500	単 位	M
図 号	全 6 葉中の内 2		
令和 7	年度施行		
大 山 町			

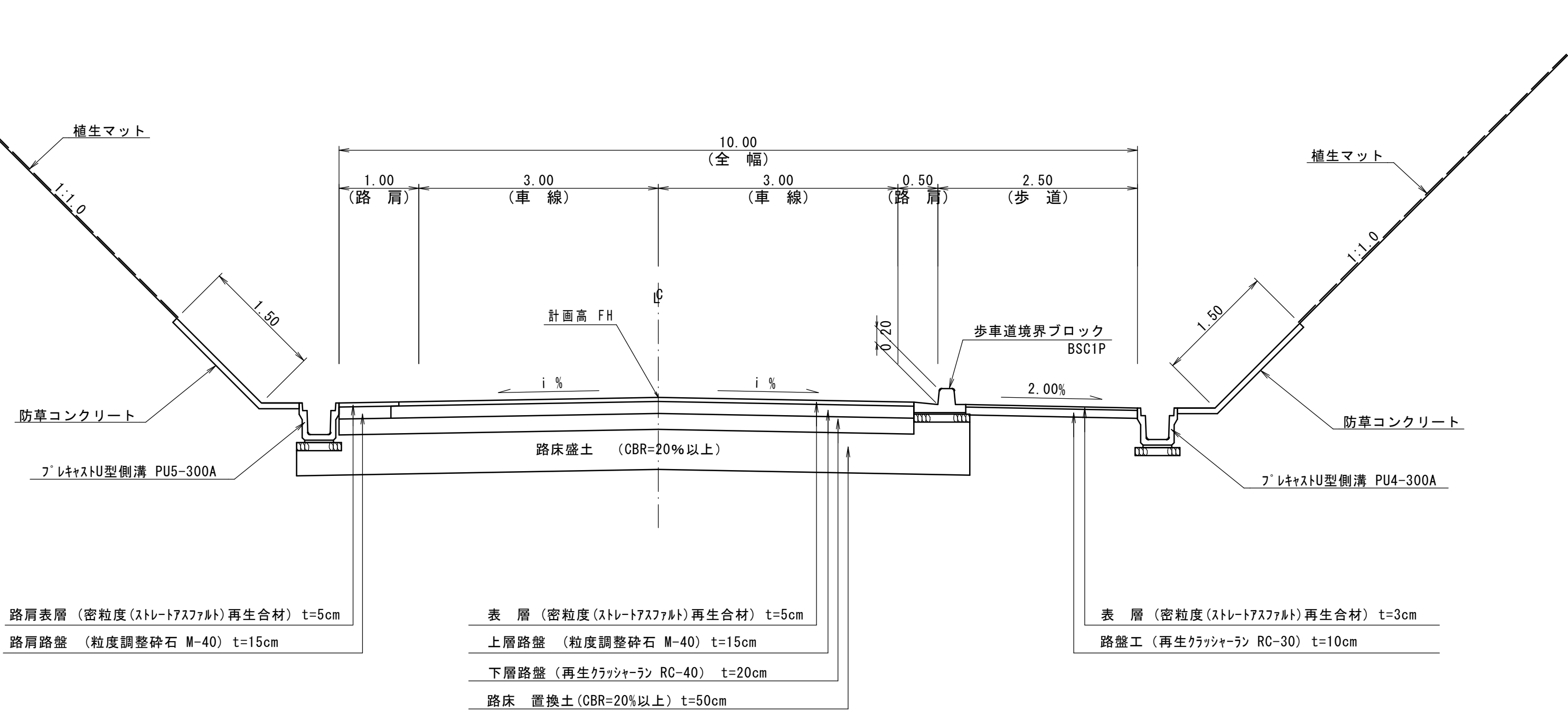
設計条件		
設計基準項目	基準目標値	採 用 値
構造規格	第3種第3級	
幅員構成	10.00(2.50+0.50+3.00+3.00+1.00)m	
設計速度	50 km/h	
標準横断勾配	2.0 %	
最小曲線半径	100(80) m	100 m
最小曲線長	600/θ(80) m	- m
最小緩和区間長	40 m	- m
最小視距	55 m	55 m
最急縦断勾配	6(9) %	6.0 %
最小縦断曲線半径	凸 800 m 凹 700 m	凸 820 m 凹 880 m
最小縦断曲線長	40 m	- m
最大合成勾配	11.5 %	6.3 %
最大片勾配	6 %	2.49 %

標準断面図（盛土部）



舗装計画				
設計基準項目	基準目標値		採 用 値	
疲労破壊輪数	30,000 (N3交通)			
設計 C B R	3 %			
T A	15		15.3	
設 計 値				
構成層	種 別	等 値 換算係数	厚 さ (cm)	T A
表 層	再生粗粒度アスコン (ストアス)	1.00	5	5.00
上層路盤	粒度調整砕石 (M-40)	0.35	15	5.25
下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40)	0.25	20	5.00
合 計			40	15.30

標準断面図（切土部）



路 線 名	町道中山インター線		
町道中山インター線改良工事（7工区）			
図 名	標 準 断 面 図		
位 置	西伯郡大山町赤坂		
縮 尺	1:500	単 位	M
図 号	全 6 葉中の内 3		
令和 7 年度施行			
大 山 町			

D=20.000

掘 削	—	床 掘	—
表土剥取	—	埋戻(排水構造物)	—
路床盛土	—	埋戻(構造物撤去)	1.6
路体盛土	—		
路肩盛土	—		
法面整形(盛土部)	—	—	
法面整形(切土部)	—	—	
法面工(盛土部)	—	—	
法面工(切土部)	—	—	

NO. 29

GH=26.64
FH=25.150 (25.024)

DL=20.00

NO. 28

GH=25.47
FH=25.470 (25.447)

D=20.000

掘 削	—	床 掘	—
表土剥取	—	埋戻(排水構造物)	—
路床盛土	—	埋戻(構造物撤去)	1.5
路体盛土	—		
路肩盛土	—		
法面整形(盛土部)	—	—	
法面整形(切土部)	—	—	
法面工(盛土部)	—	—	
法面工(切土部)	—	—	

DL=20.00

NO. 27+10.20

GH=25.62
FH=25.620 (25.797)

D=9.800

掘 削	—	床 掘	—
表土剥取	—	埋戻(排水構造物)	—
路床盛土	—	埋戻(構造物撤去)	—
路体盛土	—		
路肩盛土	—		
法面整形(盛土部)	—	—	
法面整形(切土部)	—	—	
法面工(盛土部)	—	—	
法面工(切土部)	—	—	

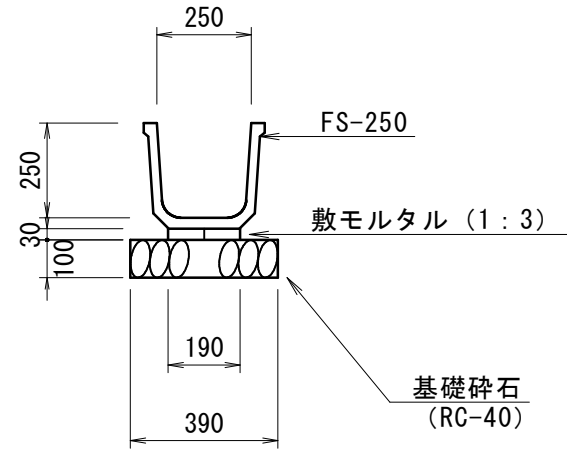
DL=20.00

NO. 27+10.20～NO. 29

路 線 名		町道中山インター線		
町道中山インター線改良工事（7工区）				
図 名		横断面図（其の 1）		
位 置		西伯郡大山町赤坂		
縮 尺		図 示	単 位	M
図 号		全 6 葉中の内 4		
令和 7 年度施行				
大 山 町				

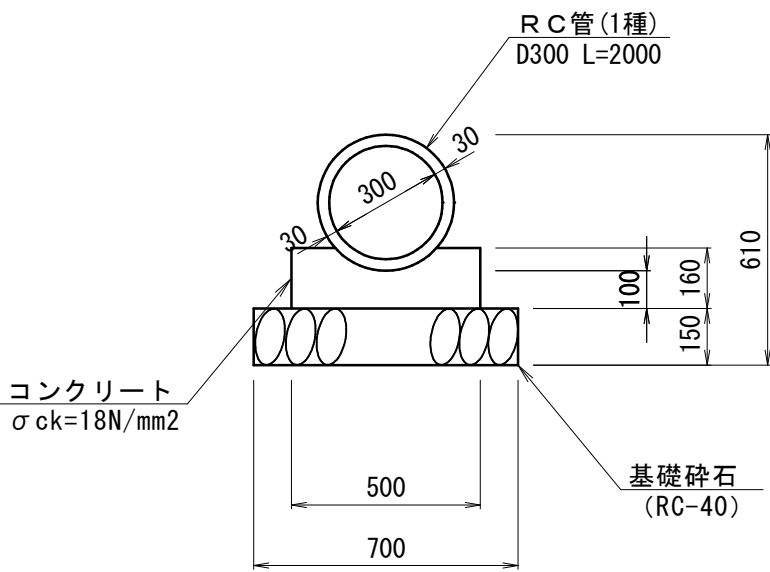
構 造 図 (2)

角フリューム FS-250
S=1:20



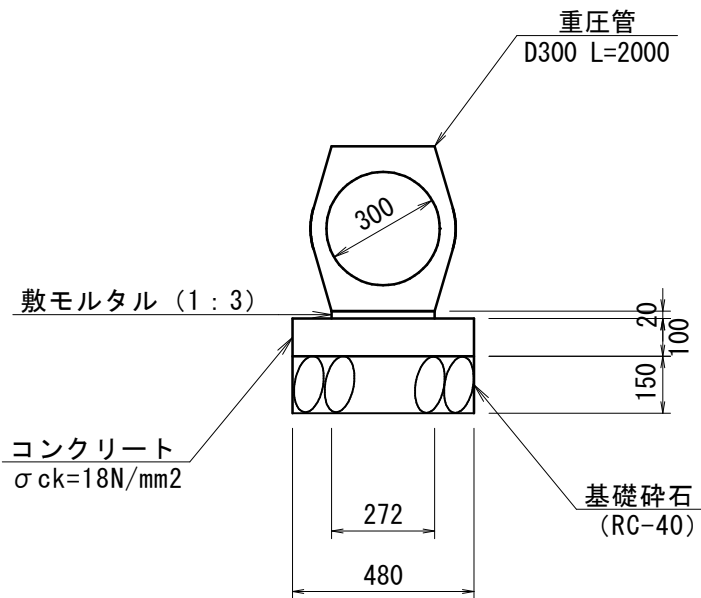
数量表			10.0m当たり
名 称	規 格	計 算 式	数 量
フリューム	FS-250 L=2000	小構造物標準設計図集より	5.0 個
敷モルタル	1:3	〃	0.057 m ³
基礎砕石	t=10cm RC-40	〃	3.900 m ²

CP1-RC1-D300
S=1:20



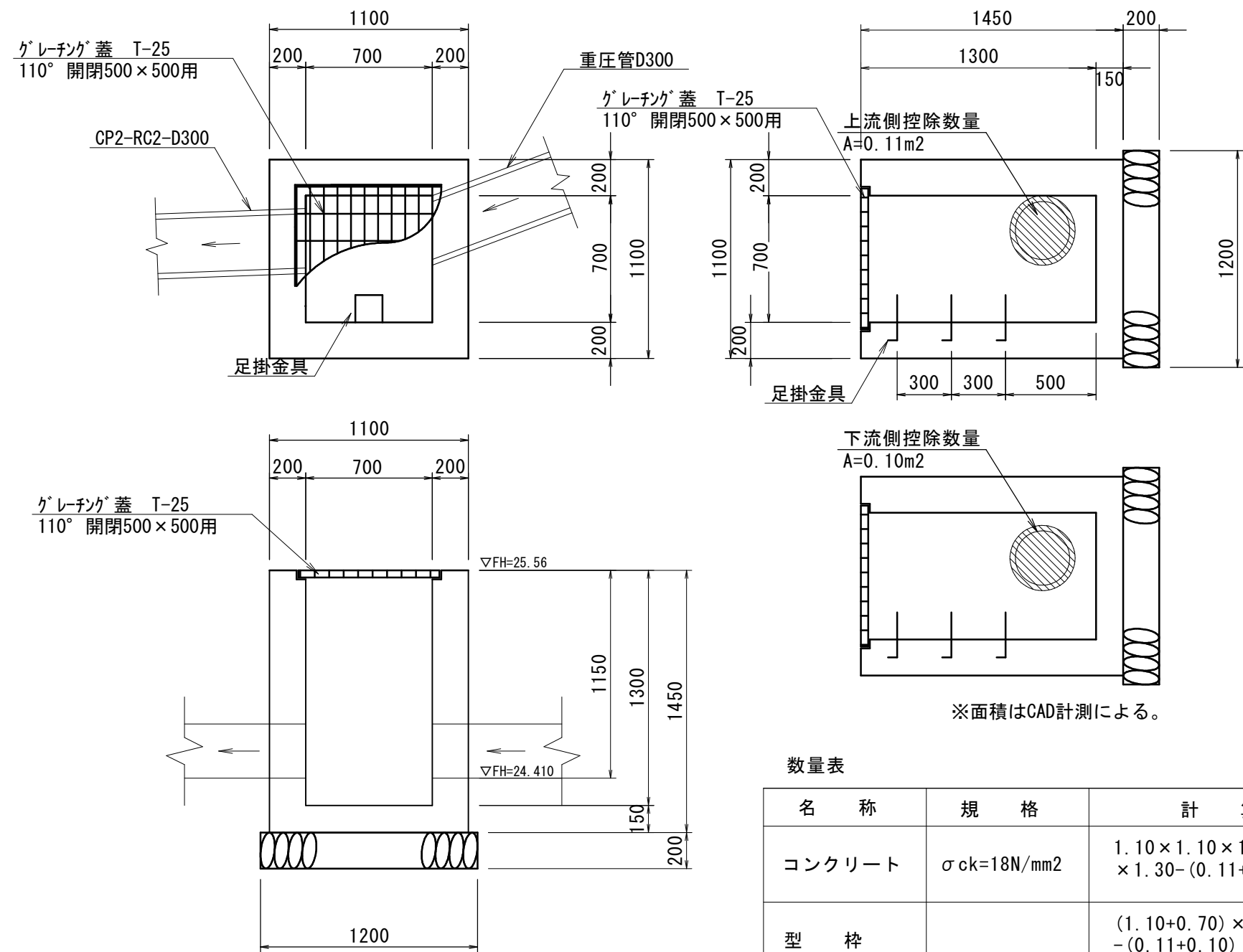
数量表			10.0m当たり
名 称	規 格	計 算 式	数 量
RC管	D300 L=2000	小構造物標準設計図集より	5.0 本
コンクリート	σck=18N/mm2	〃	0.688 m ³
型 枠	小型構造物	〃	3.200 m ²
基礎砕石	t=15cm RC-40	〃	7.000 m ²

重圧管
D300 S=1:20



数量表			10.0m当たり
名 称	規 格	計 算 式	数 量
重圧管	D300		5.0 個
敷モルタル	1:3	0.272 × 0.02 × 10.0	0.054 m ³
コンクリート	σck=18N/mm2	0.480 × 0.10 × 10.0	0.480 m ³
型 枠	小型構造物	0.10 × 2 × 10.0	2.000 m ²
基礎砕石	t=15cm RC-40	0.480 × 10.0	4.800 m ²

33号集水樹
S=1:30

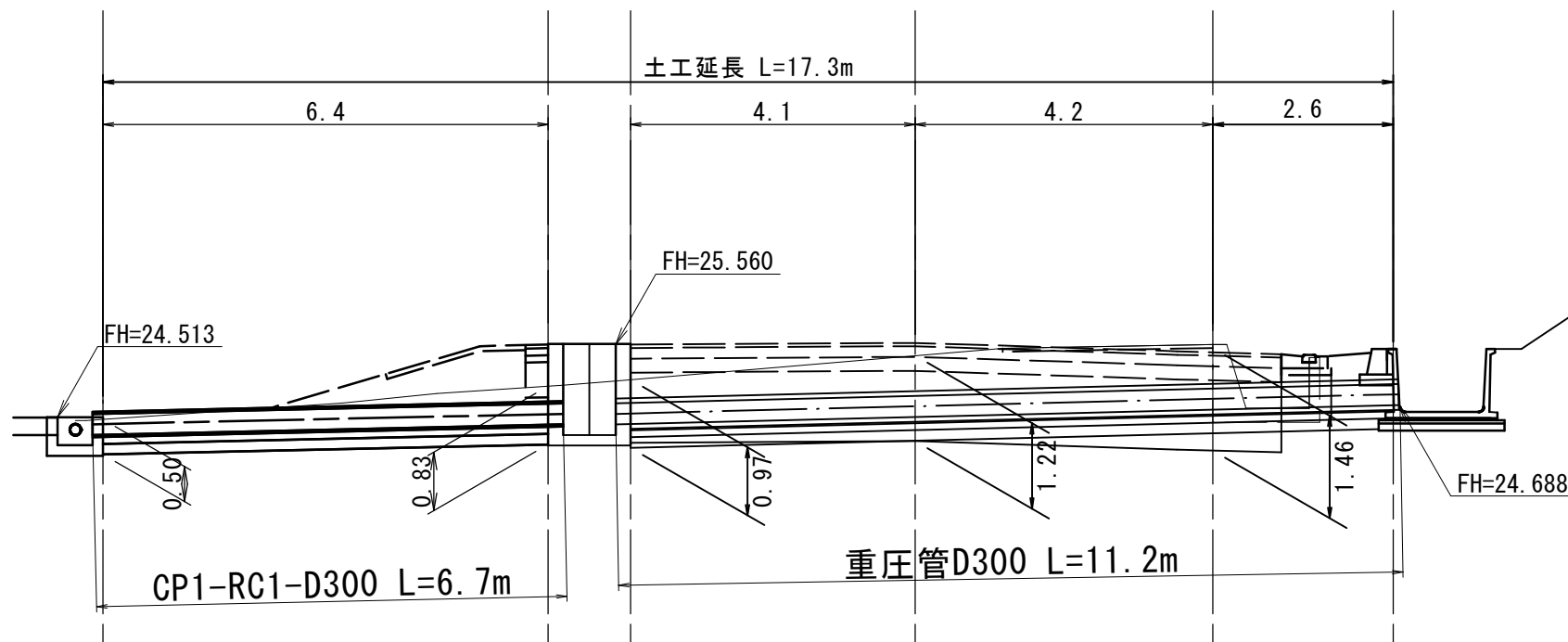


※面積はCAD計測による。

数量表			1箇所当たり
名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	1.10 × 1.10 × 1.45 - 0.70 × 0.70 × 1.30 - (0.11 + 0.10) × 0.20	1.080 m ³
型 枠		(1.10 + 0.70) × 1.45 × 4 - (0.11 + 0.10) × 2	10.020 m ²
基礎砕石	t=20cm RC-40	1.20 × 1.20	1.440 m ²
足掛金具	W=150		3 個
グレーチング蓋	700 × 700用 t=25, 110° 開閉		1 枚

横断管一般図 (2)

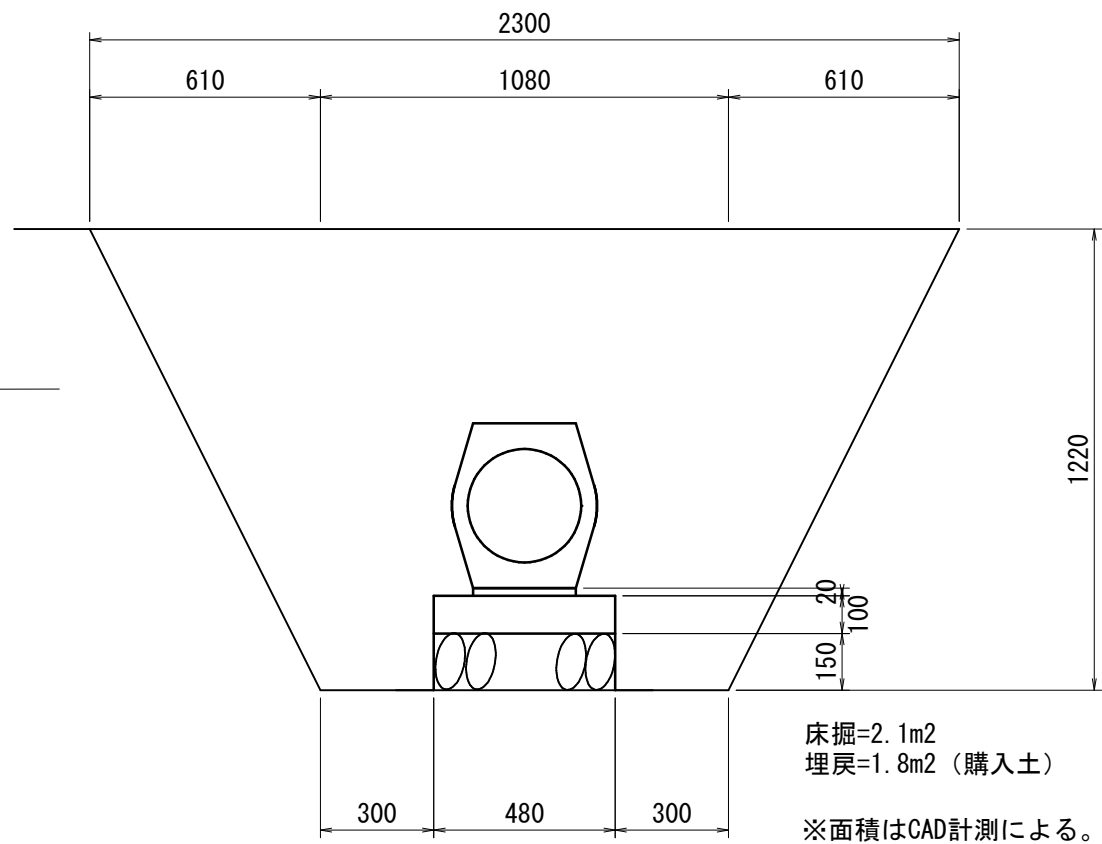
NO. 27+16.158



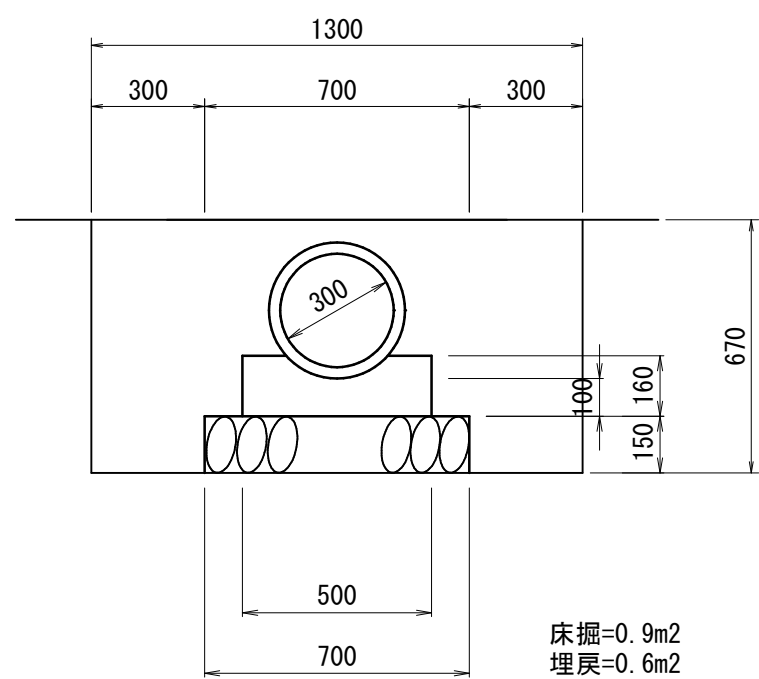
DL=20.00

平均掘削深h= {4.1 × (0.97 + 1.22) / 2 + 4.2 × (1.22 + 1.46) / 2} / 8.3 = 1.22m
平均掘削深h= (0.50 + 0.83) / 2 = 0.67m

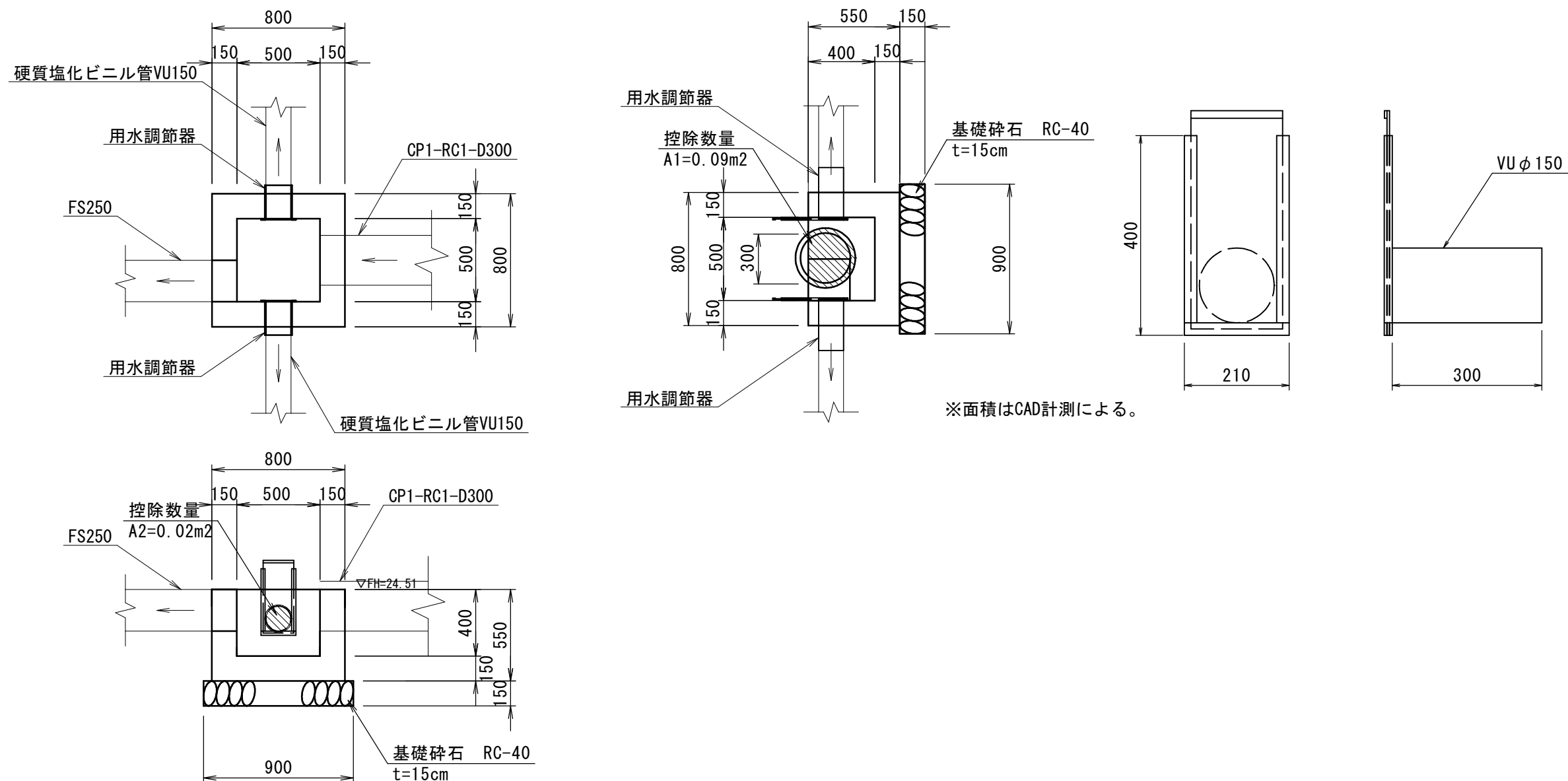
重圧管
S=1:20



CP1-RC2-D300
S=1:20



34号集水樹
S=1:30



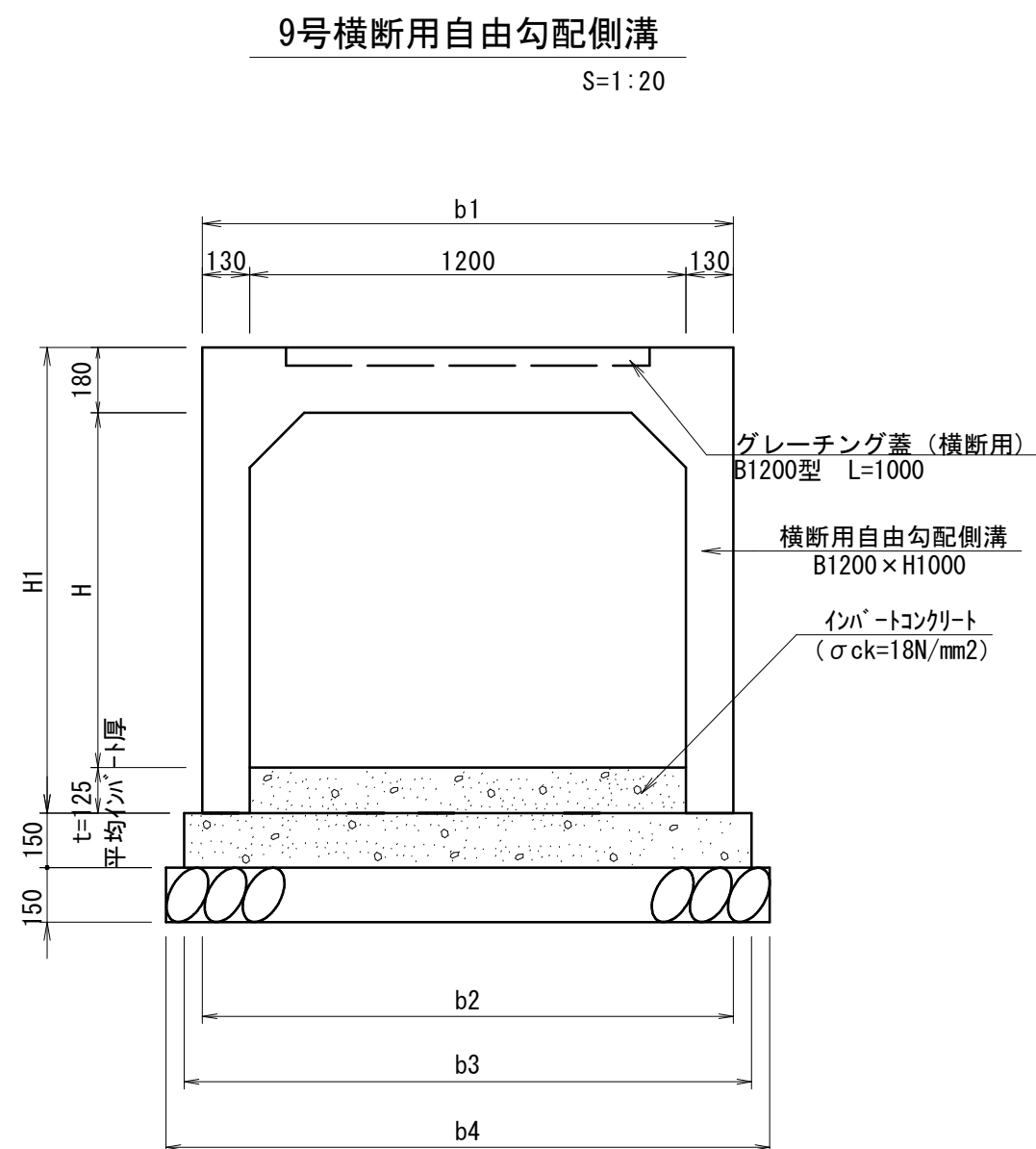
※面積はCAD計測による。

数量表			1箇所当たり
名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	0.80 × 0.80 × 0.55 - 0.50 × 0.50 × 0.40 - (0.25 × 0.25 + 0.02 × 2 + 0.09) × 0.15	0.223 m ³
型 枠		(0.80 + 0.50) × 0.55 × 4 + 0.25 × 3 × 0.15 - (0.02 × 4 + 0.09 × 2)	2.713 m ²
基礎砕石	t=15cm RC-40	0.90 × 0.90	0.810 m ²

用水調節器
S=1:10

路 線 名	町道中山インター線
町道中山インター線改良工事 (7工区)	
図 名	構 造 図 (其の 2)
位 置	西伯郡大山町赤坂
縮 尺	図 示 単 位 M
図 号	全 6 葉 中 の 内 5
令和 7 年度施行	
大 山 町	

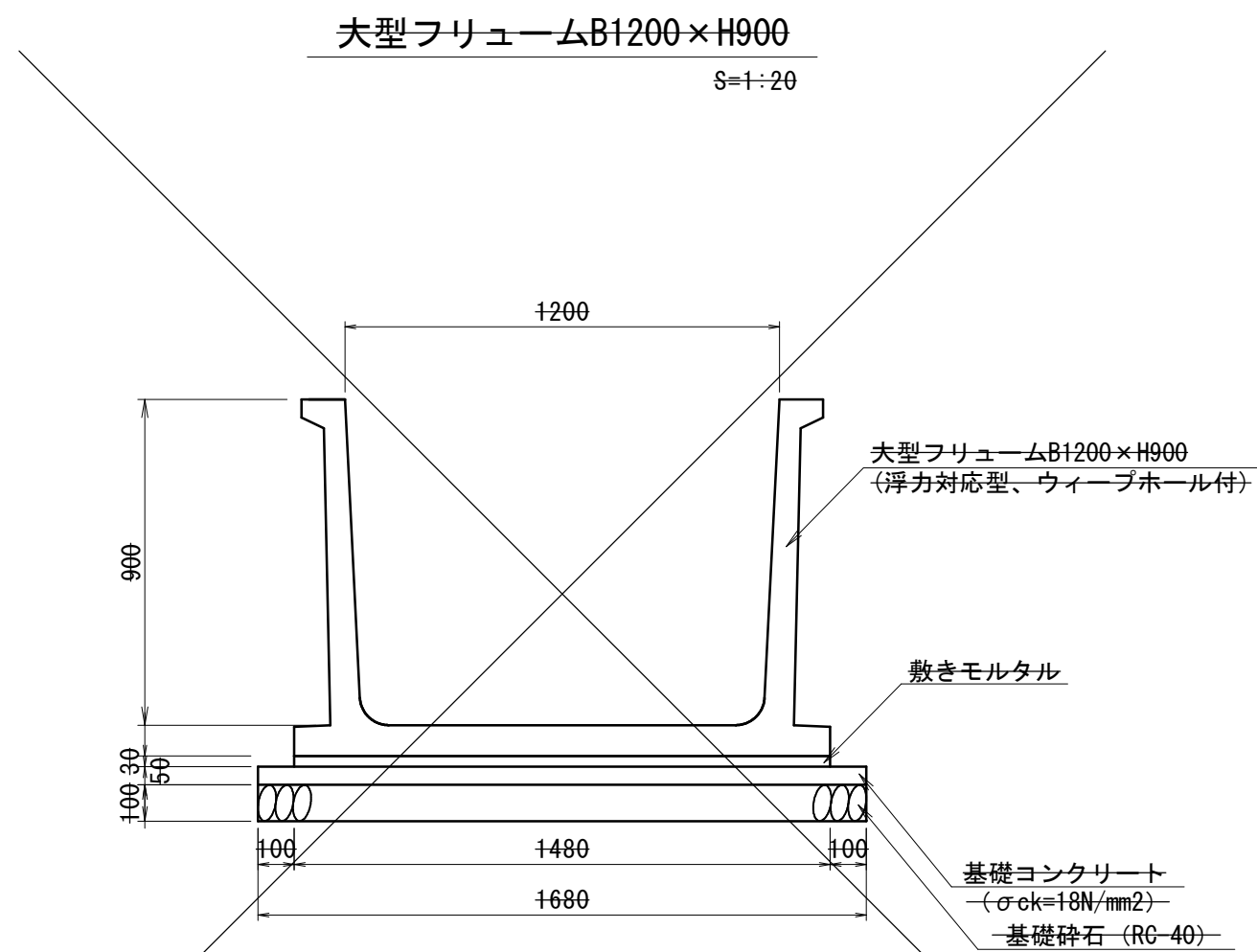
構造図 (6)



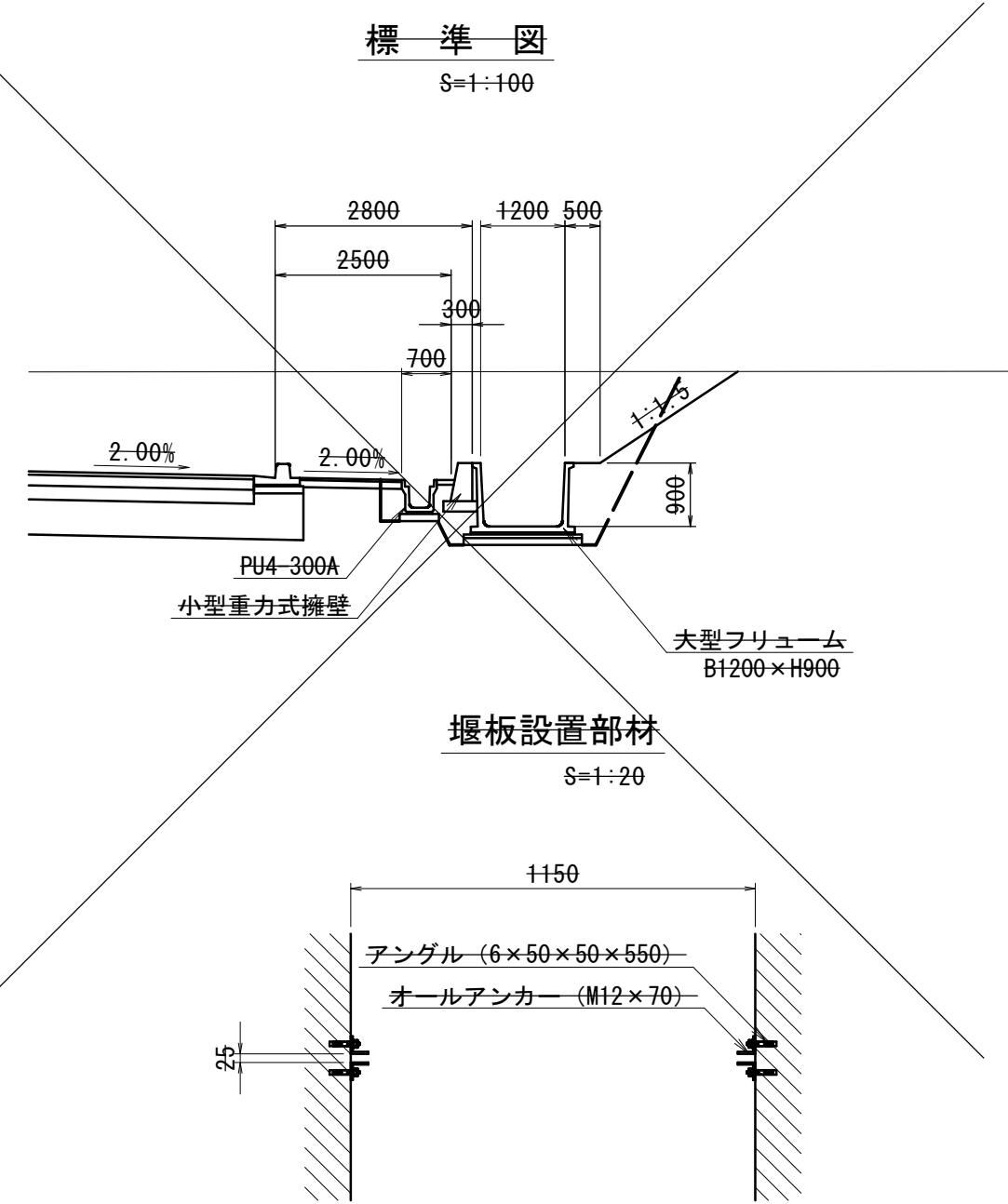
H	H1	b1	b2	b3	b4	インパネコナリット 断面積 (m ²)	インパネコナリット平均厚 t (m)
1000	1280	1460	1460	1560	1660	2.014	2.014/16.12=0.125

※面積はCAD計測による。

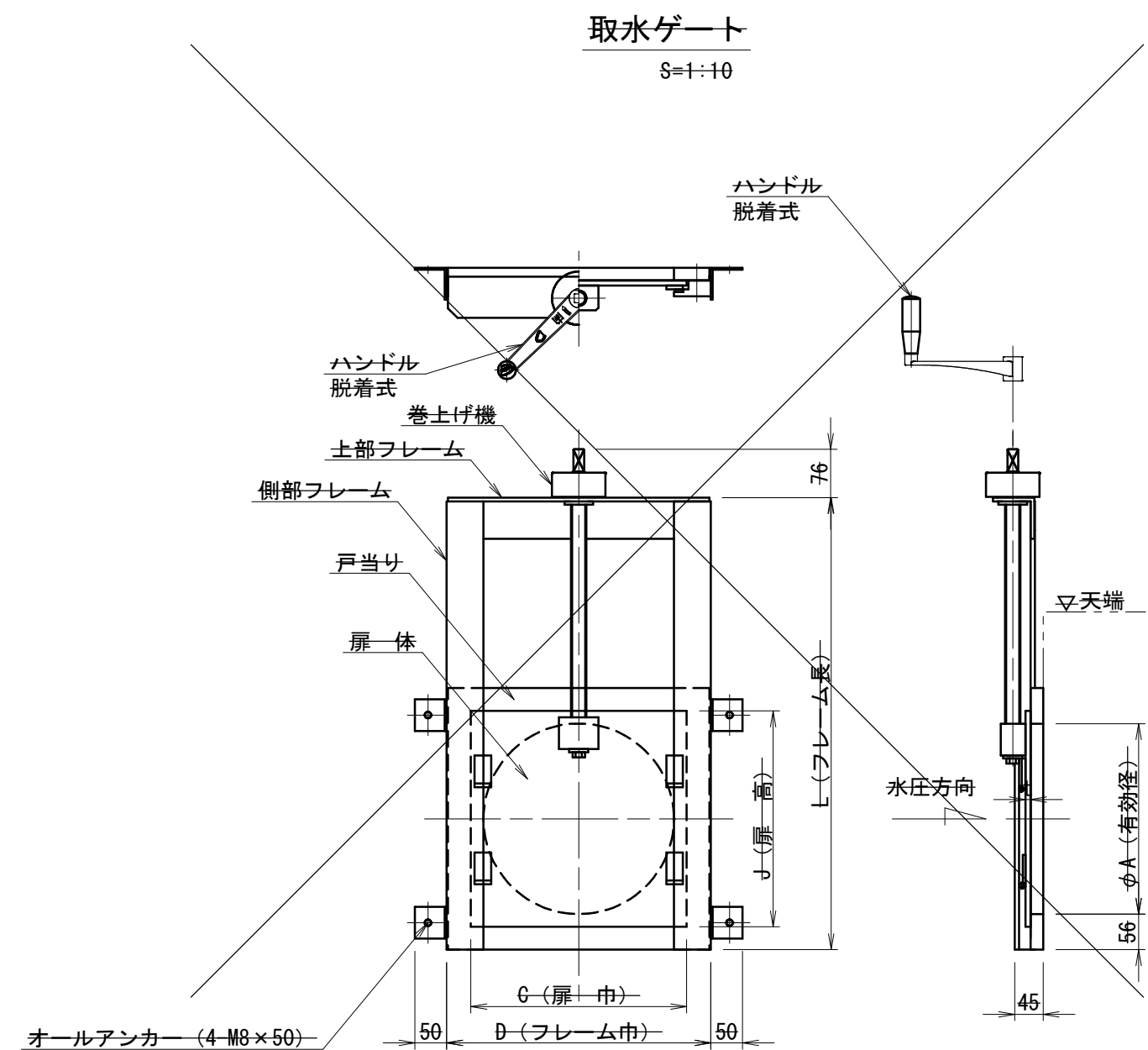
数量表 (FSC B1200×H1000)				10.0m当たり	
名 称	規 格	計 算 式	単位	H1000	備 考
自由勾配側溝	縦断用 B300	10.0/2	本	5.0	
イン-ートコンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	$0.125 \times 1.20 \times 10.0$	m ³	1.500	
基礎コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	$1.560 \times 0.15 \times 10.0$	m ³	2.340	
型 枠	均しコンクリート	$0.15 \times 2 \times 10.0$	m ²	3.000	
基礎砕石	寸:15cm RC-40	1.660×10.0	m ²	16.600	
グレーチング蓋	横断用 L=1000	$0.125 \times 1.20 \times 10.0$	枚	10.0	



数量表 (大型フリュームB1200×H900)-				10.0m当たり
名 称	規 格	計 算 式	単 位	H900
大型フリューム	B1200×H900 浮力対応型	10.0/2	本	5.0
敷モルタル	t=3	$1.480 \times 0.03 \times 10.0$	m ³	0.444
基礎コンクリート	σck=10N/mm ²	$1.680 \times 0.05 \times 10.0$	m ³	0.840
型 枠	均ヒコンクリート	$0.05 \times 2 \times 10.0$	m ²	1.000
基礎砕石	t=10cm RC-40	1.680×10.0	m ²	16.800

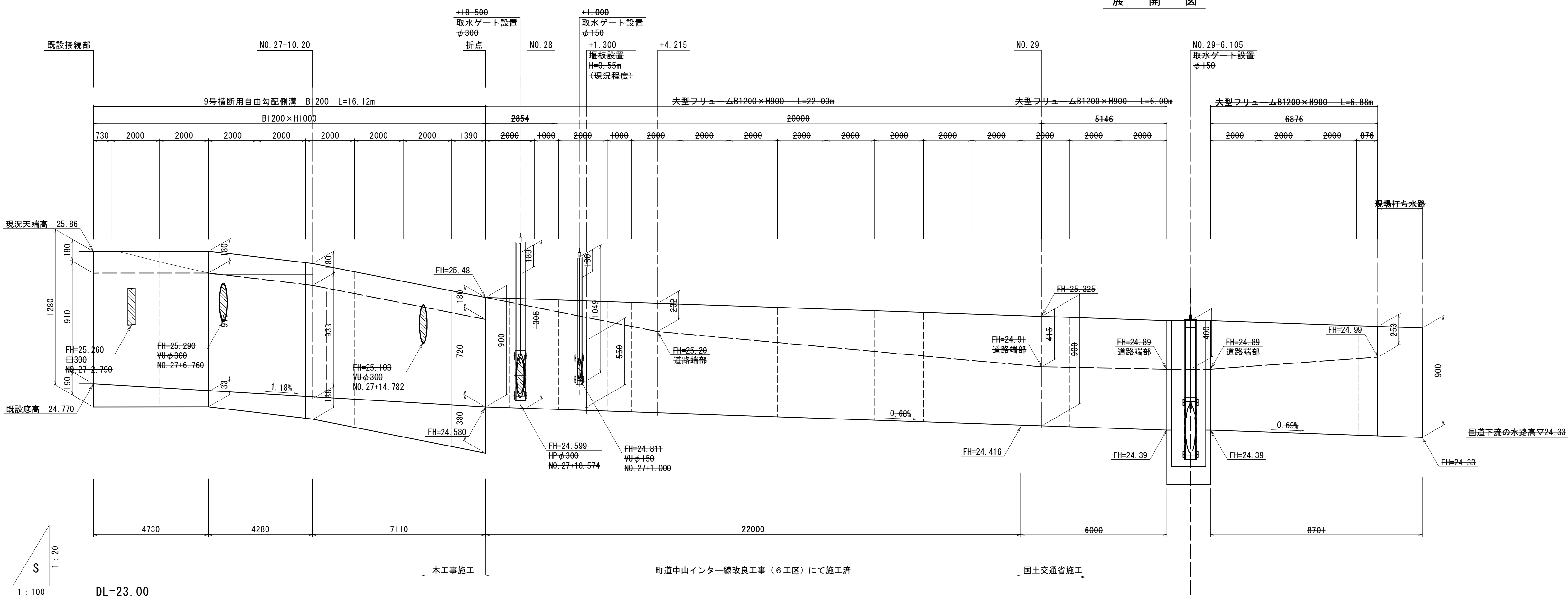


数量表(堰板設置部材)					1箇所当たり
名 称	規 格	計 算 式	単 位	H1300	備 考
アングル	6×50×50×550	0.00443×0.55×4	t	0.010	
オールアンカー	M12×70		本	8.0	



A	G	D	E	最小寸法	J	t
150	192	266	1049	420	190	-8
300	342	416	1305	720	340	-8

数量表（取水ゲート）			1箇所当たり
名 称	規 格	計 算 式	数 量
取水ゲート	巻上げ式		1.0 箇所



路線名	町道中山インター線			
町道中山インター線改良工事（7工区）				
図名	構 造 図（其の 1）			
位置	西伯郡大山町赤坂			
縮尺	図 示	単 位	M	
図号	全 6 葉中の内 6			
令和 7	年度施行			
大 山 町				